

「津島市地域福祉計画」策定にあたっての
アンケート調査

調査結果報告書

平成 22 年 3 月

津 島 市

目次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1

II 調査結果の内容

1. あなたご自身（ご本人）についてお聞きします。 2

問1 あなたの性別についてお答えください。	2
問2 あなたの年齢についてお答えください。（平成21年10月1日現在の満年齢）	3
問3 あなたの家族構成についてお答えください。	4
問4 あなたの世帯の状況についてお答えください。	5
問5 あなたの住んでいる地区（中学校区）はどこですか。	5
問6 津島市に何年ぐらいお住まいですか。	6

2. あなたの日常生活のことについてお聞きします。 7

問7 近隣の人とは、どの程度付き合いをしていますか。	7
問8 ふだんの暮らしの中で、あなたの悩みや不安、困っていることは何ですか。	8
問9 あなたは悩みや不安、困ったことがあるとき、誰に相談していますか。	9
問9-1 なぜ、相談していないのですか。（あてはまるすべての番号に○）	10
問10 近所に困っている方がいるとき、あなたがしてあげられることは何ですか。	10
問11 あなたは、今後どのようなことで地域に貢献できると思いますか。	12
問12 あなたは福祉に関してどのような情報を得たいですか。	13
問13 あなたは、自分にとって必要な福祉サービスの情報をどの程度入手できていますか。	14
問14 あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。	15

3. 町内会などの地域活動・ボランティア活動についてお聞きします。 16

問15 あなたは、町内会などの地域活動に参加していますか。	16
問15-1 どの程度活動をしていますか。	17
問15-2 どのような活動をしていますか。	18
問15-3 どのような目的で活動していますか。	18
問15-4 現在活動していない理由は何ですか。	18

問 15-5	今後も活動しないと思う理由は何ですか。……………	19
問 16	あなたはボランティア活動をしていますか。……………	19
問 16-1	どのようなボランティア活動をしていますか。(していましたか。)……………	20
問 16-2	ボランティア活動をはじめたきっかけは何ですか。……………	20
問 16-3	今後、どのようなボランティア活動に参加したいと思いませんか。……………	21
問 16-4	活動しない理由は何ですか。……………	21
問 17	地域の中でボランティア活動をすすめていく上で、必要な条件はどのようなことだとお考えですか。……………	22
問 18	ボランティアにその活動の対価として報酬を支給することについて、あなたはどのようにお考えですか。……………	23
問 19	あなたが、自由になる時間帯はいつですか。……………	24

4. 災害時における助け合いについてお聞きします。…………… 25

問 20	東海地震や東南海地震等の発生が予測される中で、災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことです。あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。……………	25
問 21	被災後の生活において、あなたは誰を頼りにしますか。……………	26

5. 福祉教育についてお聞きします。…………… 27

問 22	学校の中で福祉教育を取り入れるにあたり、どのような方法が有効だと思いますか。……………	27
問 23	子どもたちの福祉の心を育てるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか……………	27

6. 地域の課題についてお聞きします。…………… 28

問 24	あなたは地域の中で、どのようなことを学んだり、活動したいと思いませんか。……………	28
問 25	あなたはお住まいの地区の生活環境をどのようにお考えですか。……………	29
問 26	高齢者が社会参加しやすいようにするために、地域として取り組むべきことは何だと思いませんか。……………	38
問 27	子育てについて考えたとき、地域として取り組むべきことは何だと思いませんか。……………	38
問 28	障がいのある人が社会参加しやすいようにするために、地域として取り組むべきことは何だと思いませんか……………	39
問 29	これからの津島市の福祉は何を重点にすべきと思いませんか。……………	39

7. 民生委員・児童委員や社会福祉協議会についてお聞きします。…………… 40

問 30	民生委員・児童委員をご存知ですか。……………	40
問 31	津島市社会福祉協議会をご存知ですか。……………	41
問 32	津島市社会福祉協議会に対してどんな事業を望みますか。……………	42

I 調査の概要

1 調査の目的

公的なサービスはもとより、地域における助け合い、支えあいによって、誰もが地域で安心して暮らすことのできる社会の実現をめざした「地域福祉計画」を策定するにあたり、基礎資料を得ることを目的としています。

2 調査対象

本調査は、本市在住の20歳以上の方の中から、無作為に2,000人の方を抽出しました。

3 調査期間

平成21年10月30日に発送し、平成21年11月16日を回収期限としました。

4 調査方法

郵便による配布、回収

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
2,000件	874件	43.7%

6 調査結果の表示方法

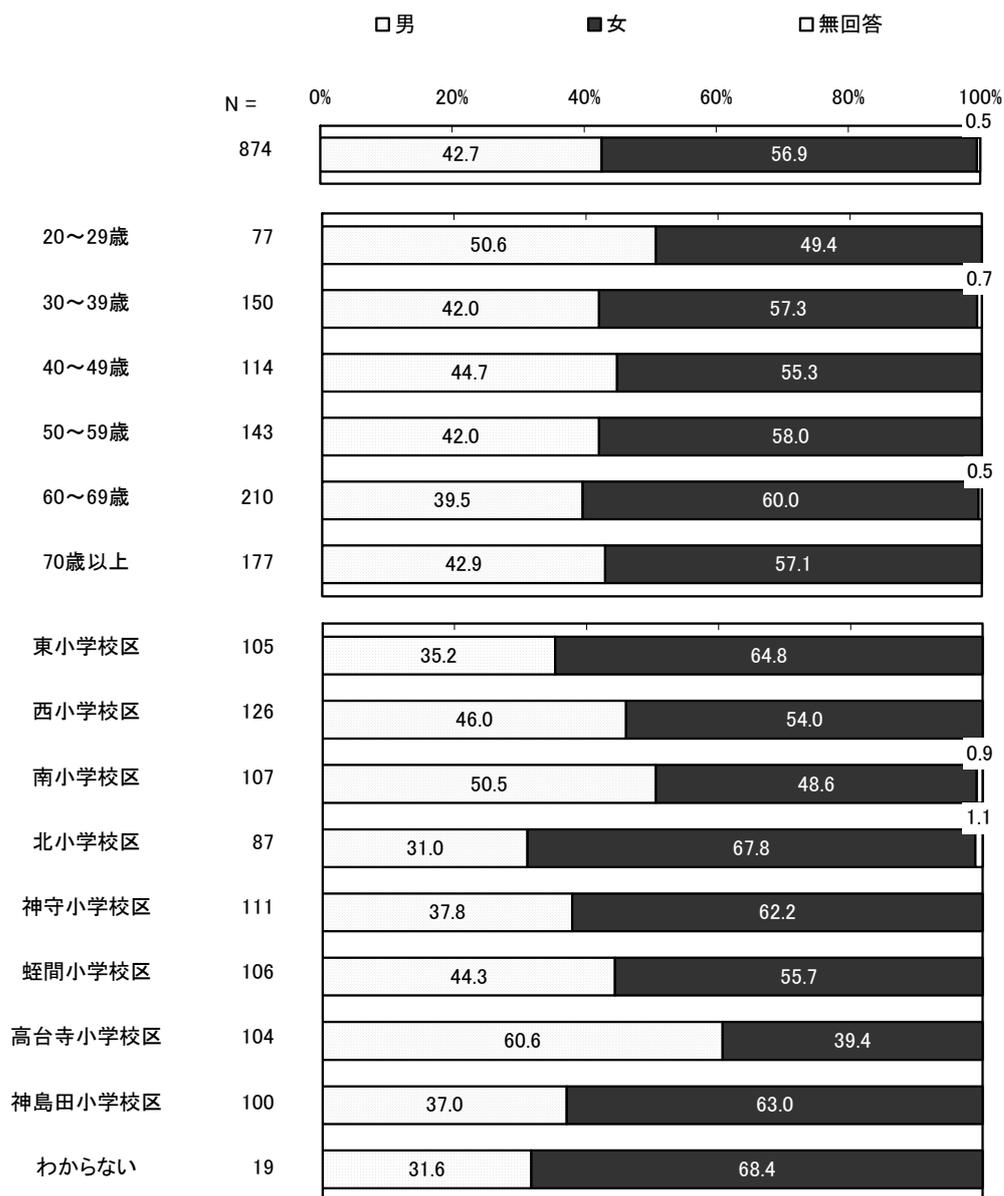
- ・グラフに表示されているN値は有効回答数です。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（有効回答数）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

Ⅱ 調査結果の内容

1. あなたご自身（ご本人）についてお聞きします。

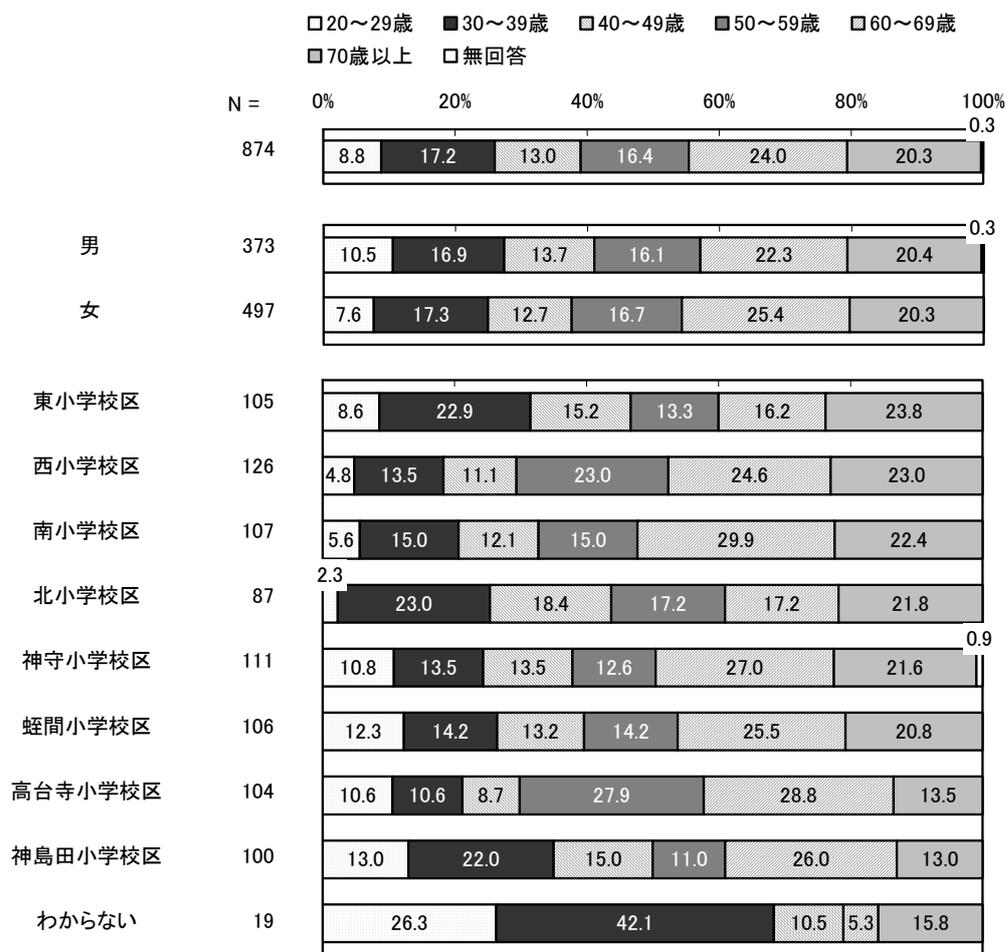
問1 あなたの性別についてお答えください。（どちらかの番号に○）

「女」の割合が56.9%、「男」の割合が42.7%となっています。



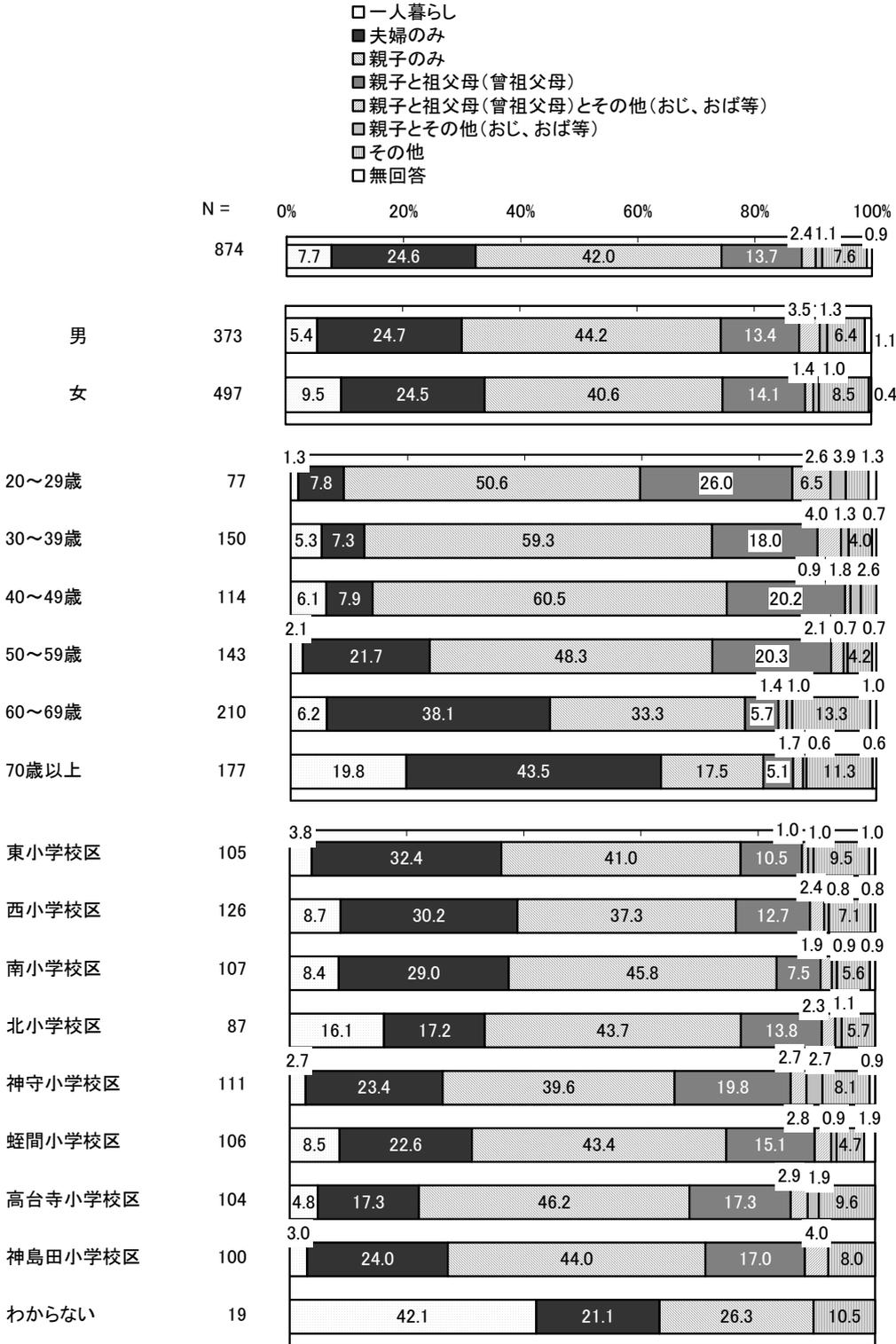
**問2 あなたの年齢についてお答えください。(平成21年10月1日現在の満年齢)
(1つの番号に○)**

「60～69歳」の割合が24.0%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が20.3%、「30～39歳」の割合が17.2%となっています。



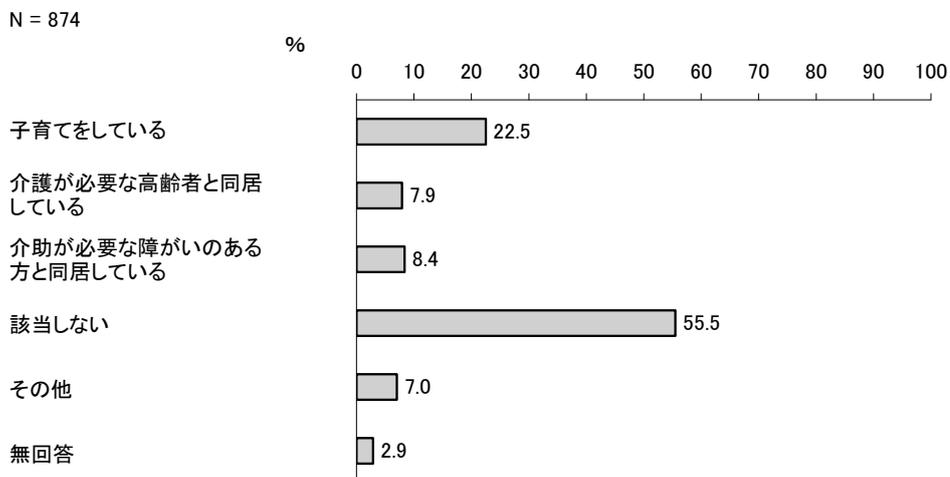
問3 あなたの家族構成についてお答えください。(1つの番号に○)

「親子のみ」の割合が42.0%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が24.6%、「親子と祖父母(曾祖父母)」の割合が13.7%となっています。



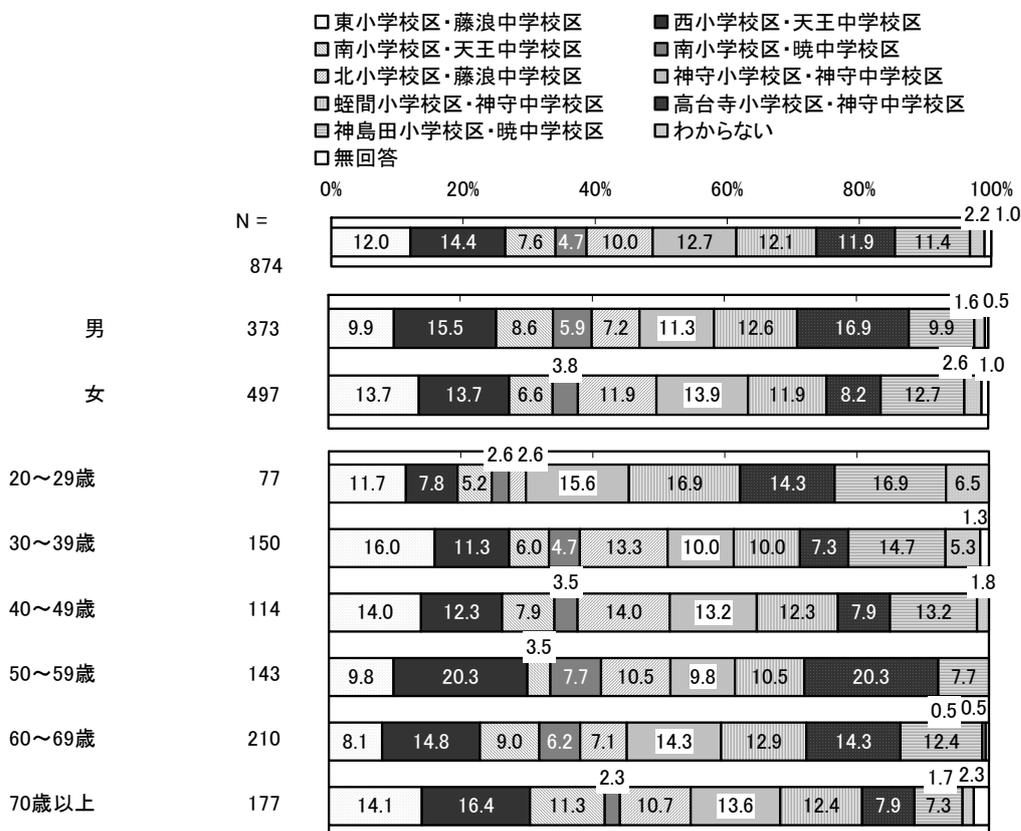
問4 あなたの世帯の状況についてお答えください。(あてはまるすべての番号に○)

「子育てをしている」の割合が 22.5%、「介助が必要な障がいのある方と同居している」の割合が 8.4%、「介護が必要な高齢者と同居している」の割合が 7.9%、となっています。



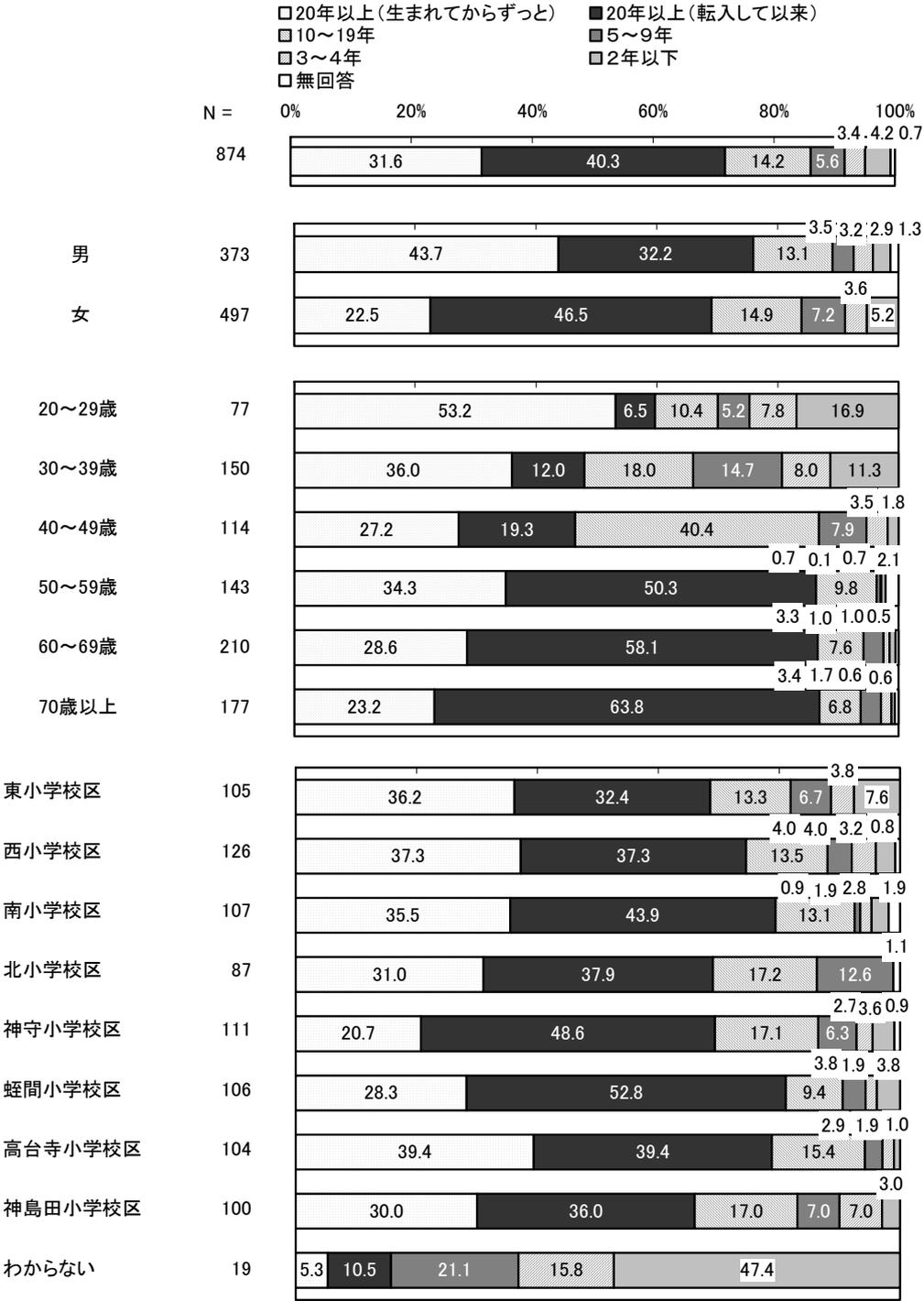
問5 あなたの住んでいる地区 (中学校区) はどこですか。(1つの番号に○)

「西小学校区・天王中学校区」の割合が 14.4%と最も高く、次いで「神守小学校区・神守中学校区」の割合が 12.7%、「蛭間小学校区・神守中学校区」の割合が 12.1%となっています。



問6 津島市に何年ぐらいお住まいですか。(1つの番号に○)

「20年以上(転入して以来)」の割合が40.3%と最も高く、次いで「20年以上(生まれてからずっと)」の割合が31.6%、「10～19年」の割合が14.2%となっています。



2. あなたの日常生活のことについてお聞きします。

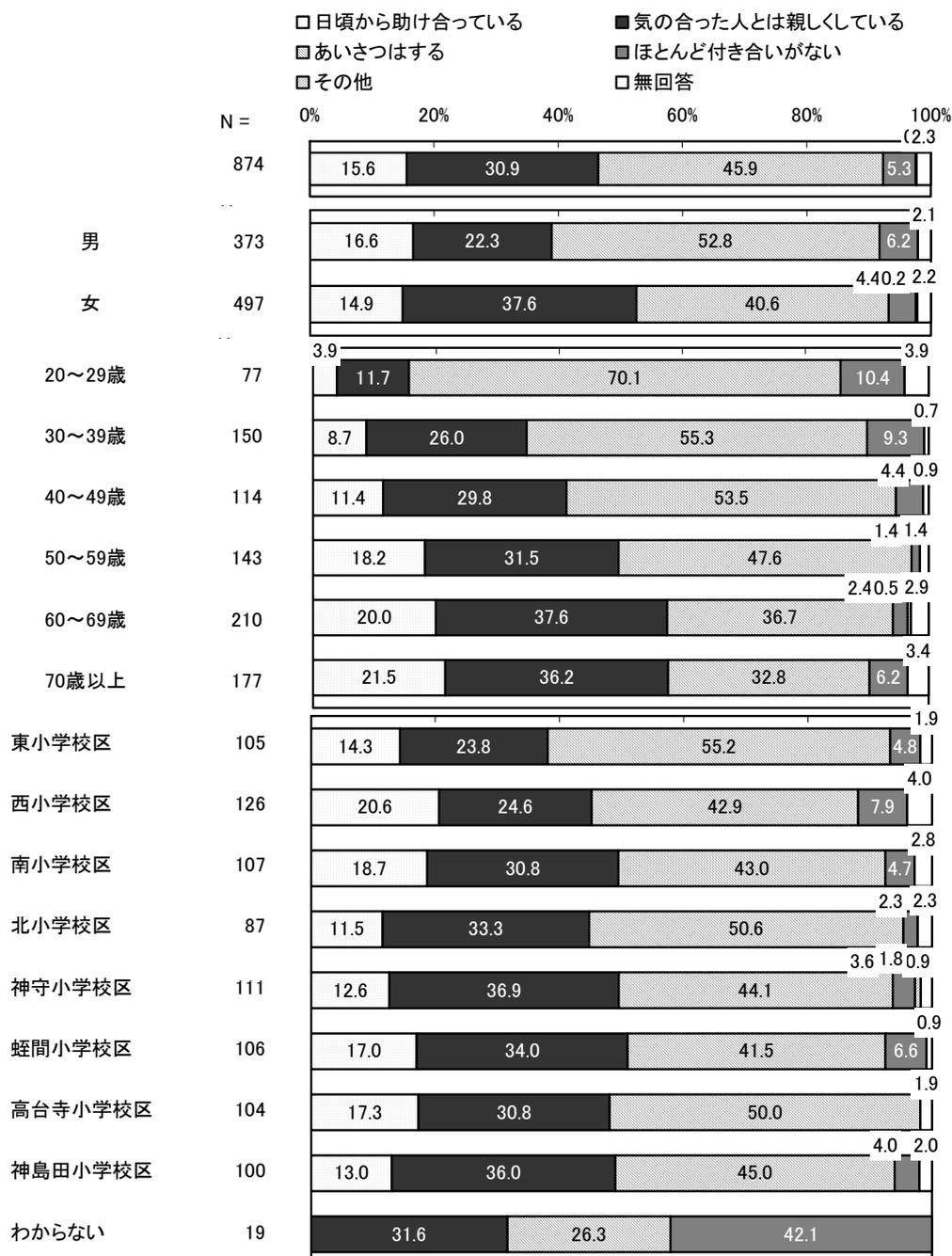
問7 近隣の人とは、どの程度付き合いをしていますか。(1つの番号に○)

「あいさつはする」の割合が45.9%と最も高く、次いで「気の合った人とは親しくしている」の割合が30.9%、「日頃から助け合っている」の割合が15.6%となっています。

性別では、女性に比べ男性において「あいさつはする」の割合が52.8%と高くなっています。また、男性に比べ女性において「気の合った人とは親しくしている」の割合が37.6%と高くなっています。

年齢別では、他の年齢に比べ20～29歳において「あいさつはする」の割合が70.1%と高くなっています。また、60歳以上で「気の合った人とは親しくしている」の割合が高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ神守小学校区において「気の合った人とは親しくしている」の割合が36.9%と高くなっています。東小学校区において「あいさつはする」の割合が55.2%と高くなっています。

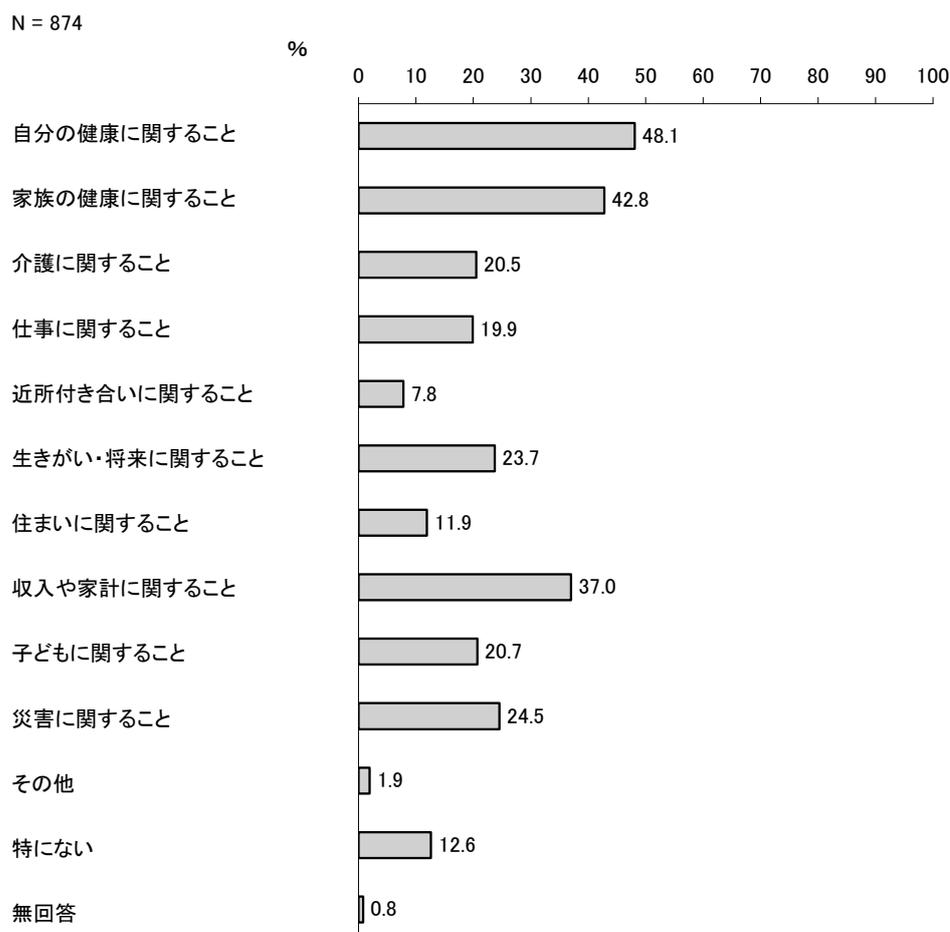


問8 ふだんの暮らしの中で、あなたの悩みや不安、困っていることは何ですか。（あてはまるすべての番号に○）

「自分の健康に関すること」の割合が48.1%と最も高く、次いで「家族の健康に関すること」の割合が42.8%、「収入や家計に関すること」の割合が37.0%となっています。健康に関することの割合が高くなっています。

性別では、女性に比べ男性において「仕事に関すること」の割合が26.0%と高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど、「自分の健康に関すること」の割合が高くなっています。他の年齢に比べ30～49歳において「子どもに関すること」の割合が、70歳以上において「介護に関すること」の割合が高くなっています。



(単位：%)

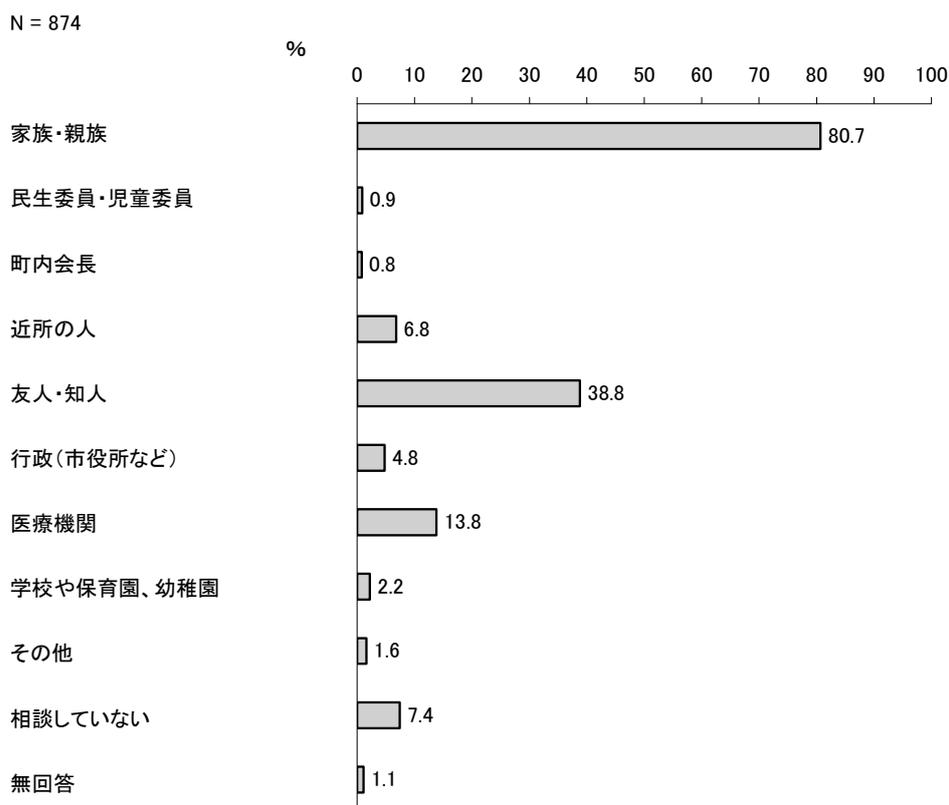
項目	有効回答数(件)	1. 自分の健康に関すること	2. 家族の健康に関すること	3. 介護に関すること	4. 仕事に関すること	5. 近所付き合いに関すること	6. 生きがい・将来に関すること	7. 住まいに関すること	8. 収入や家計に関すること	9. 子どもに関すること	10. 災害に関すること	11. その他	12. 特にない	13. 無回答
男	373	47.5	42.9	19.0	26.0	8.3	25.2	11.8	35.4	18.0	23.6	1.9	13.9	0.5
女	497	48.5	42.9	21.3	15.5	7.2	22.3	11.9	37.8	22.7	25.2	2.0	11.7	0.8
20～29歳	77	24.7	29.9	9.1	32.5	2.6	29.9	9.1	40.3	13.0	14.3	2.6	19.5	1.3
30～39歳	150	36.7	38.7	8.7	34.0	10.7	26.7	18.0	48.0	35.3	22.0	2.0	14.0	0.7
40～49歳	114	37.7	47.4	14.9	42.1	13.2	25.4	19.3	48.2	40.4	22.8	0.9	9.6	-
50～59歳	143	47.6	46.2	22.4	18.2	8.4	25.9	14.7	34.3	21.7	28.0	2.1	14.0	0.7
60～69歳	210	52.4	45.7	22.9	9.5	5.7	23.3	7.1	38.1	12.9	23.3	1.4	11.0	1.0
70歳以上	177	70.1	43.5	34.5	1.7	6.2	16.4	6.8	19.8	7.9	30.5	2.8	11.3	0.6

問9 あなたは悩みや不安、困ったことがあるとき、誰に相談していますか。(あてはまるすべての番号に○)

「家族・親族」の割合が80.7%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が38.8%、「医療機関」の割合が13.8%となっています。「民生委員・児童委員」や「行政（市役所など）」の公的機関への相談の割合は低くなっています。

性別では、男性に比べ女性において「友人・知人」の割合が46.1%と高くなっています。

年齢別では、他の年齢に比べ70歳以上において「行政（市役所など）」、「医療機関」の割合が高くなっています。



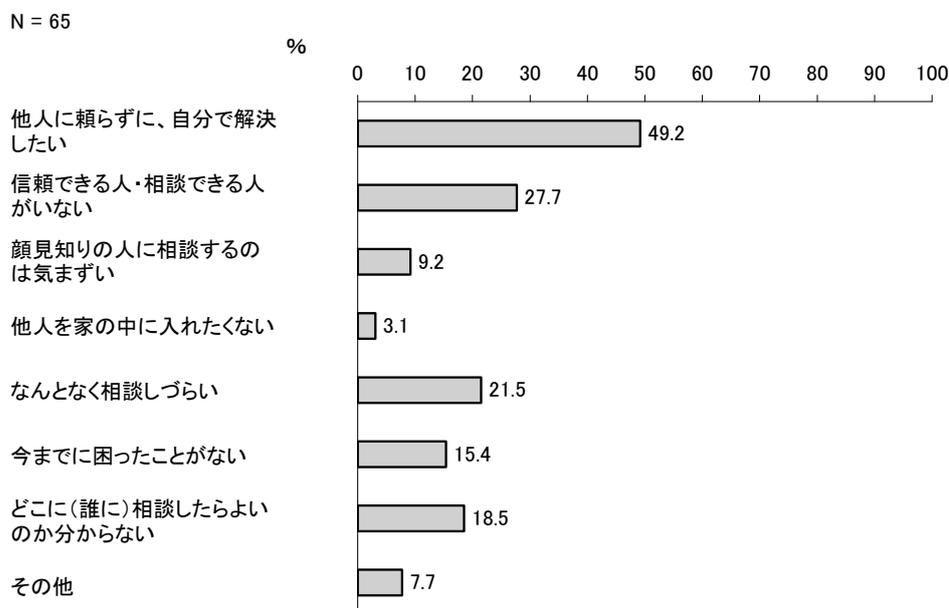
(単位：%)

項目	有効回答数(件)	家族・親族	民生委員・児童委員	町内会長	近所の人	友人・知人	行政(市役所など)	医療機関	学校や保育園、幼稚園	その他	相談していない	無回答
男	373	79.1	0.5	0.3	5.1	29.0	5.6	15.0	1.1	1.6	9.9	0.5
女	497	82.1	1.2	1.2	8.0	46.1	4.0	12.9	3.0	1.6	5.4	1.4
20～29歳	77	79.2	-	-	2.6	62.3	1.3	3.9	2.6	1.3	5.2	2.6
30～39歳	150	80.7	0.7	0.7	4.0	53.3	2.0	8.7	5.3	1.3	8.0	2.0
40～49歳	114	76.3	0.9	0.9	6.1	50.0	4.4	9.6	6.1	1.8	8.8	-
50～59歳	143	79.7	-	-	5.6	41.3	2.8	13.3	0.7	1.4	9.8	0.7
60～69歳	210	83.8	0.5	-	7.6	26.2	4.8	10.0	0.5	1.4	7.1	1.4
70歳以上	177	81.9	2.8	2.8	11.3	22.6	10.7	30.5	-	2.3	5.1	-

<問9で「10. 相談していない」と答えた方にお聞きします>

問9-1 なぜ、相談していないのですか。(あてはまるすべての番号に○)

「他人に頼らずに、自分で解決したい」の割合が49.2%と最も高く、次いで「信頼できる人・相談できる人がいない」の割合が27.7%、「なんとなく相談しづらい」の割合が21.5%となっています。



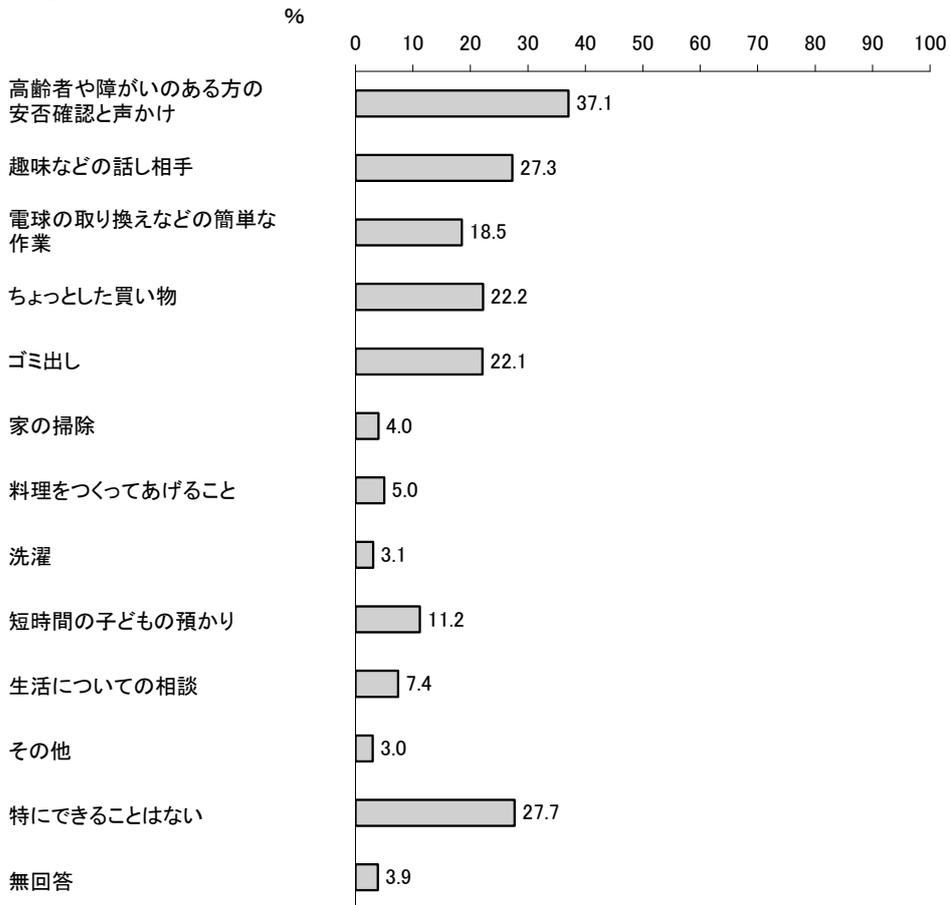
問10 近所に困っている方がいるとき、あなたがしてあげられることは何ですか。(あてはまるすべての番号に○)

「高齢者や障がいのある方の安否確認と声かけ」の割合が37.1%と最も高く、次いで「趣味などの話し相手」の割合が27.3%、「ちょっとした買い物」の割合が22.2%、「ゴミ出し」の割合が22.1%となっています。一方で、「特にできることはない」の割合が27.7%となっています。

性別では、女性に比べ男性において「電球の取り換えなどの簡単な作業」、「特にできることはない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ女性において「ちょっとした買い物」、「短時間の子どもの預かり」の割合が高くなっています。

年齢別では、他の年齢に比べ20～49歳において「短時間の子どもの預かり」の割合が、50～69歳において「高齢者や障がいのある方の安否確認と声かけ」の割合が高くなっています。

N = 874



(単位：%)

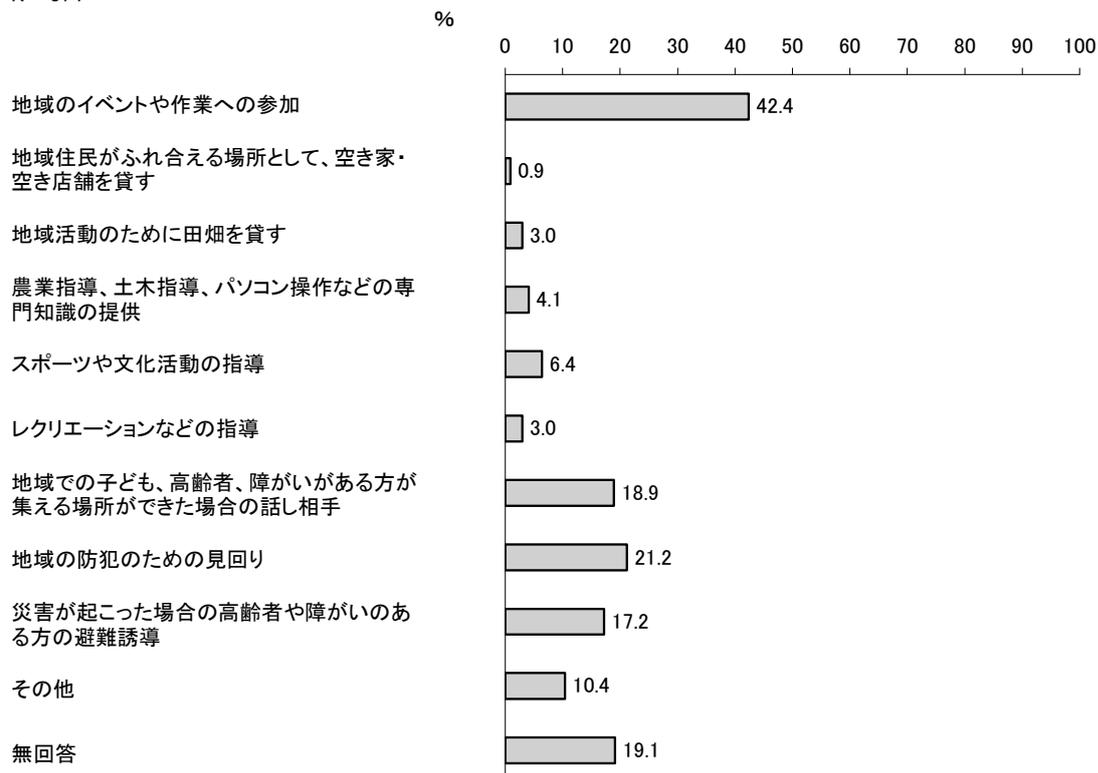
項目	有効回答数(件)	高齢者や障がいのある方の安否確認と声かけ	趣味などの話し相手	電球の取り換えなどの簡単な作業	ちょっとした買い物	ゴミ出し	家の掃除	料理をつくってあげること	洗濯	短時間の子どもの預かり	生活についての相談	その他	特にできることはない	無回答
男	373	36.7	24.9	27.1	15.3	19.3	2.7	2.1	1.3	6.7	8.0	2.4	31.4	3.2
女	497	37.6	29.2	12.1	27.6	24.1	4.8	7.2	4.4	14.7	7.0	3.4	24.7	4.4
20～29歳	77	35.1	40.3	20.8	16.9	18.2	2.6	5.2	2.6	20.8	7.8	1.3	27.3	1.3
30～39歳	150	32.0	29.3	20.7	22.0	22.0	4.0	1.3	2.7	19.3	7.3	4.7	30.0	2.0
40～49歳	114	38.6	23.7	24.6	26.3	25.4	4.4	6.1	3.5	16.7	9.6	-	29.8	0.9
50～59歳	143	42.7	21.0	23.1	30.8	30.1	4.9	7.0	4.9	9.1	6.3	2.1	27.3	2.8
60～69歳	210	40.5	25.7	18.6	22.4	21.9	4.8	5.2	3.8	6.2	6.2	4.3	22.4	6.2
70歳以上	177	32.8	28.8	8.5	15.3	15.8	2.8	5.6	1.1	4.5	8.5	3.4	31.1	6.8

問 11 あなたは、今後どのようなことで地域に貢献できると思いますか。(あてはまるすべての番号に○)

「地域のイベントや作業への参加」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「地域の防犯のための見回り」の割合が 21.2%、「地域での子ども、高齢者、障がいがある方が集える場所ができた場合の話し相手」の割合が 18.9%となっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ蛭間小学校区、高台寺小学校区において「地域のイベントや作業への参加」の割合が高くなっています。また、高台寺小学校区において「地域の防犯のための見回り」の割合が 32.7%と高くなっています。

N = 874



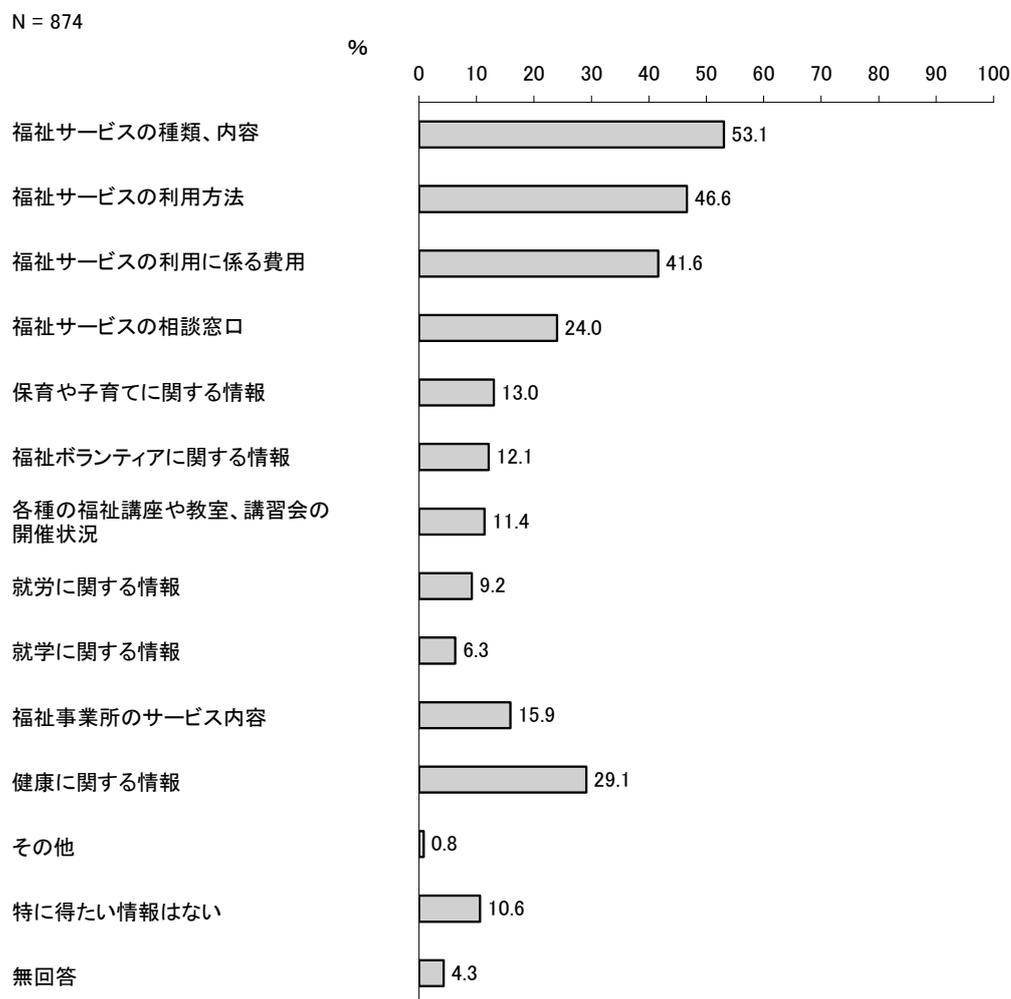
(単位：%)

項目	有効回答数(件)	地域のイベントや作業への参加	地域住民がふれ合える場所として、空き家・空き店舗を貸す	地域活動のために田畑を貸す	農業指導、土木指導、パソコン操作などの専門知識の提供	スポーツや文化活動の指導	レクリエーションなどの指導	地域での子ども、高齢者、障がいがある方が集える場所ができた場合の話し相手	地域の防犯のための見回り	災害が起こった場合の高齢者や障がいのある方の避難誘導	その他	無回答
東小学校区	105	40.0	1.0	-	2.9	4.8	1.9	20.0	13.3	16.2	13.3	21.0
西小学校区	126	35.7	0.8	1.6	5.6	7.9	2.4	21.4	15.9	18.3	14.3	19.8
南小学校区	107	34.6	-	0.9	2.8	3.7	1.9	17.8	20.6	15.9	13.1	24.3
北小学校区	87	40.2	2.3	3.4	5.7	9.2	-	23.0	14.9	19.5	5.7	16.1
神守小学校区	111	42.3	0.9	3.6	1.8	8.1	4.5	18.0	24.3	14.4	12.6	17.1
蛭間小学校区	106	50.0	0.9	3.8	2.8	4.7	2.8	17.9	27.4	17.9	8.5	16.0
高台寺小学校区	104	52.9	1.0	9.6	6.7	7.7	5.8	17.3	32.7	24.0	3.8	13.5
神島田小学校区	100	47.0	-	2.0	2.0	6.0	4.0	16.0	22.0	11.0	10.0	23.0
わからない	19	36.8	5.3	-	21.1	5.3	5.3	26.3	21.1	21.1	10.5	10.5

問 12 あなたは福祉に関してどのような情報を得たいですか。(あてはまるすべての番号に○) (福祉サービスとは、子育てや高齢者、障がいのある方などに対する支援や事業のことをいいます。)

「福祉サービスの種類、内容」の割合が53.1%と最も高く、次いで「福祉サービスの利用方法」の割合が46.6%、「福祉サービスの利用に係る費用」の割合が41.6%となっており、福祉サービスに関する事項が多くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ南小学校区、蛭間小学校区で「福祉サービスの種類、内容」の割合が、北小学校区、蛭間小学校区で「福祉サービスの利用方法」の割合が、蛭間小学校区で「福祉サービスの利用に係る費用」の割合が高くなっています。



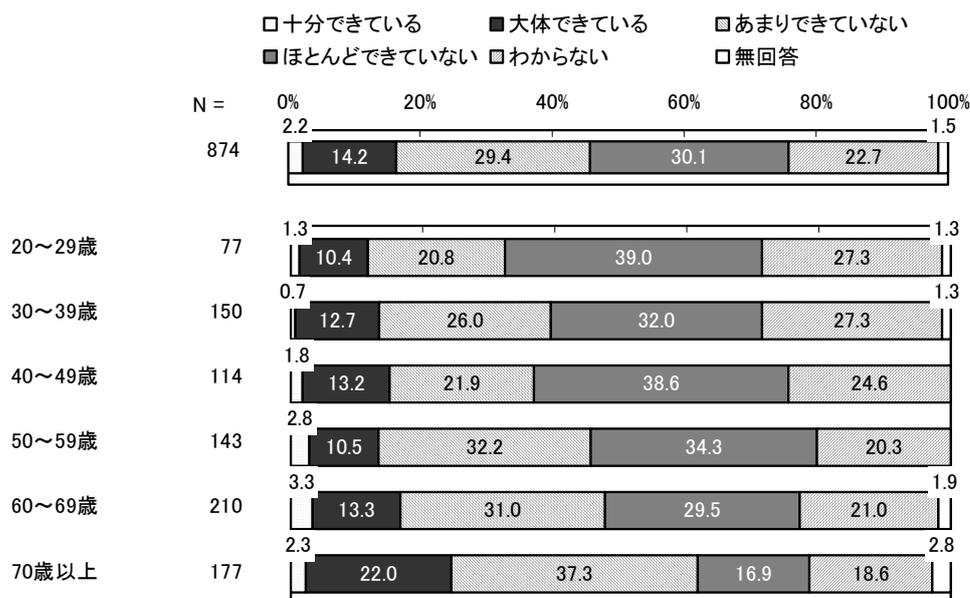
(単位：%)

項目	有効回答数(件)	福祉サービスの種類、内容	福祉サービスの利用方法	福祉サービスの利用に係る費用	福祉サービスの相談窓口	保育や子育てに関する情報	福祉ボランティアに関する情報	各種の福祉講座や教室、講習会の開催状況	就労に関する情報	就学に関する情報	福祉事業所のサービス内容	健康に関する情報	その他	特に得たい情報はない	無回答
東小学校区	105	54.3	44.8	39.0	19.0	13.3	9.5	13.3	8.6	10.5	18.1	22.9	1.0	12.4	4.8
西小学校区	126	49.2	42.1	39.7	22.2	9.5	8.7	9.5	7.9	4.0	15.1	28.6	-	11.9	6.3
南小学校区	107	61.7	45.8	47.7	30.8	15.0	16.8	10.3	8.4	6.5	21.5	31.8	-	11.2	3.7
北小学校区	87	54.0	54.0	46.0	23.0	13.8	6.9	11.5	10.3	5.7	14.9	33.3	-	9.2	-
神守小学校区	111	45.9	36.0	32.4	22.5	11.7	11.7	9.0	9.0	3.6	12.6	29.7	2.7	13.5	7.2
蛭間小学校区	106	62.3	60.4	56.6	33.0	13.2	18.9	9.4	12.3	4.7	17.0	26.4	-	8.5	2.8
高台寺小学校区	104	51.9	49.0	37.5	23.1	9.6	14.4	16.3	6.7	6.7	15.4	34.6	1.9	3.8	4.8
神島田小学校区	100	51.0	47.0	43.0	21.0	19.0	10.0	14.0	10.0	9.0	16.0	26.0	1.0	11.0	3.0
わからない	19	47.4	42.1	21.1	15.8	21.1	10.5	10.5	15.8	10.5	5.3	26.3	-	21.1	-

問 13 あなたは、自分にとって必要な福祉サービスの情報をどの程度入手できていますか。(1つの番号に○)

「十分できている」と「大体できている」をあわせてできている割合が 16.4%、「あまりできていない」と「ほとんどできていない」をあわせてできていない割合が 59.5%となっています。

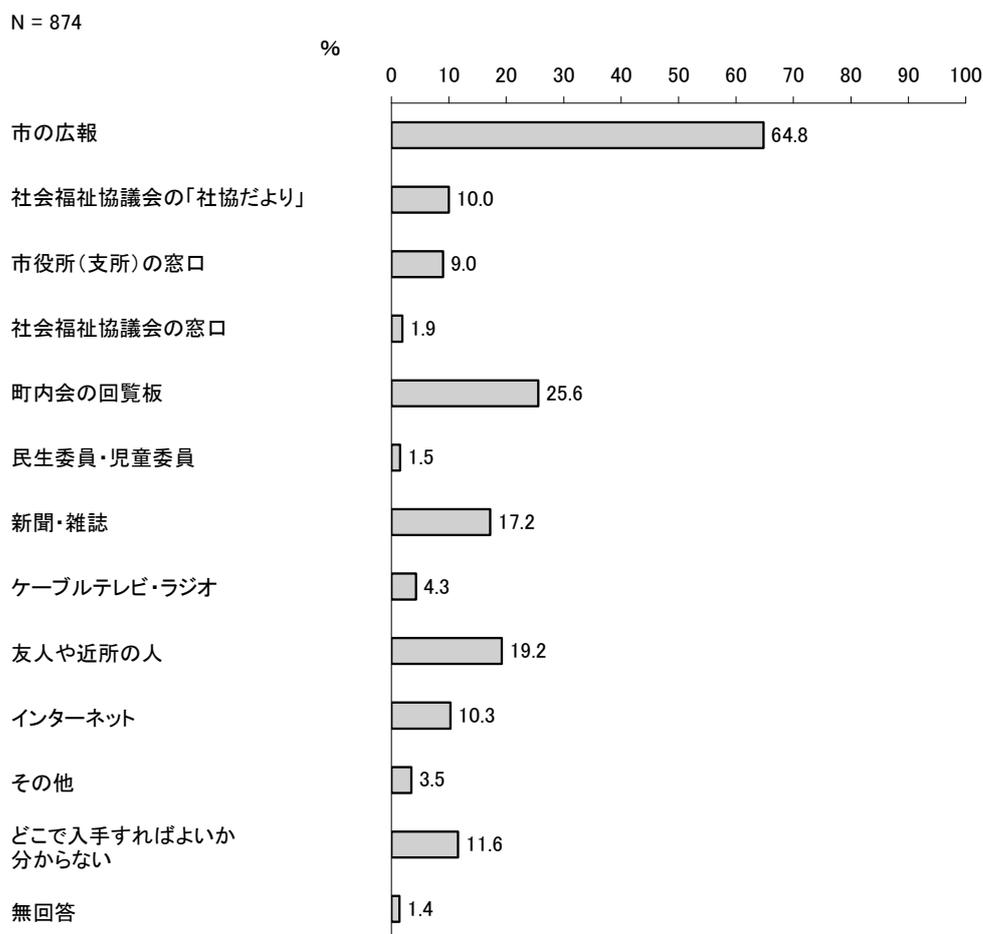
年齢別では、他の年齢に比べ50～59歳においてできていない割合が66.5%と高くなっています。70歳以上においてできている割合が24.3%と高くなっています。



**問 14 あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。
(あてはまるすべての番号に○)**

「市の広報」の割合が64.8%と最も高く、次いで「町内会の回覧板」の割合が25.6%、「友人や近所の人」の割合が19.2%となっています。

年齢別では、30歳以上において「市の広報」の割合が高くなっています。また、20～29歳において「インターネット」の割合が24.7%と高くなっています。



(単位：%)

項目	有効回答数(件)	市の広報	社会福祉協議会の「社協だより」	市役所(支所)の窓口	社会福祉協議会の窓口	町内会の回覧板	民生委員・児童委員	新聞・雑誌	ケーブルテレビ・ラジオ	友人や近所の人	インターネット	その他	どこで入手すればよいか分からない	無回答
20～29歳	77	29.9	-	3.9	-	14.3	-	9.1	6.5	16.9	24.7	5.2	31.2	3.9
30～39歳	150	67.3	6.7	2.7	-	22.0	1.3	13.3	4.0	17.3	19.3	3.3	15.3	1.3
40～49歳	114	67.5	7.0	9.6	0.9	25.4	0.9	11.4	2.6	13.2	9.6	1.8	17.5	0.9
50～59歳	143	72.0	11.2	9.8	2.8	21.0	0.7	23.8	4.9	29.4	14.7	4.9	3.5	-
60～69歳	210	66.2	11.9	11.4	1.0	32.9	1.4	21.4	4.3	21.9	3.3	2.9	9.0	1.4
70歳以上	177	68.9	15.8	13.0	5.6	28.2	3.4	16.9	4.5	14.7	1.7	4.0	5.6	1.7

3. 町内会などの地域活動・ボランティア活動についてお聞きします。

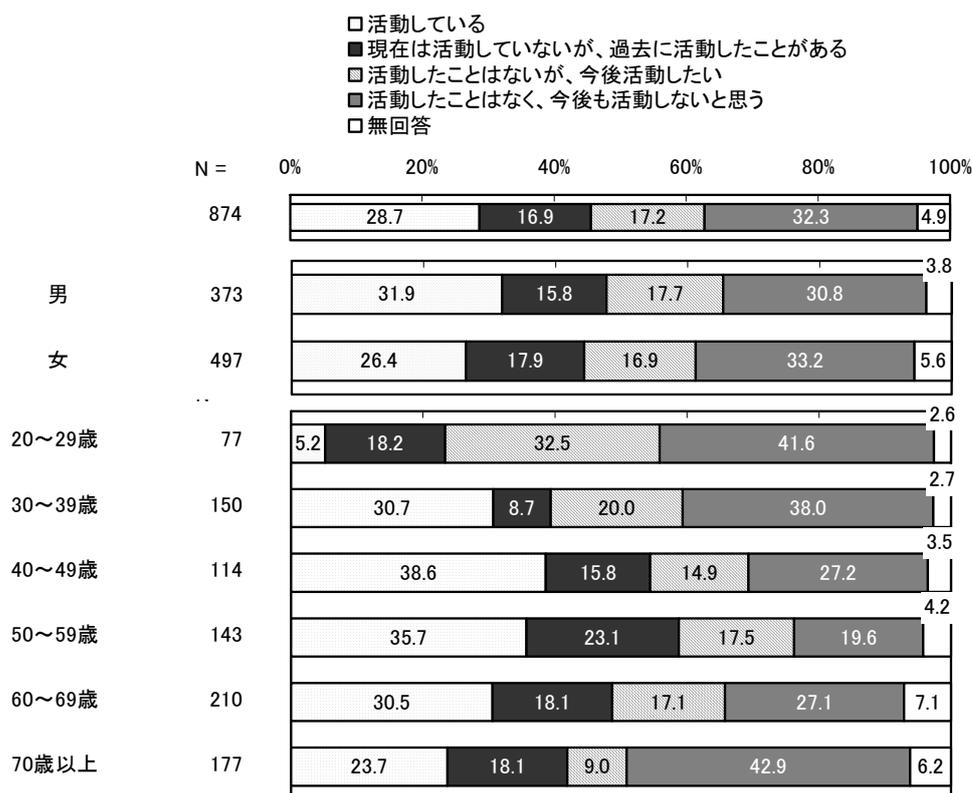
問 15 あなたは、町内会などの地域活動に参加していますか。(1つの番号に○)

「活動したことはなく、今後も活動しないと思う」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「活動している」の割合が 28.7%、「活動したことはないが、今後活動したい」の割合が 17.2%となっています。

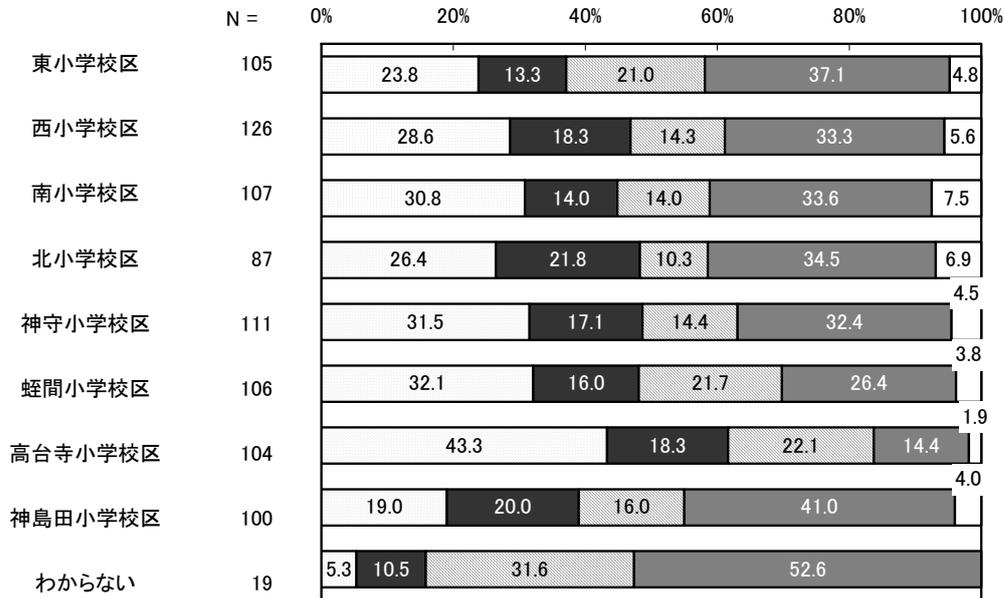
性別では、女性に比べ男性は「活動している」の割合が 31.9%と高くなっています。

年齢別では、他の年齢に比べ 40～49 歳において「活動している」の割合が 38.6%と高くなっています。一方、20～29 歳において「活動したことはないが、今後活動したい」の割合が 32.5%と高くなっています。また、20～29 歳、70 歳以上において「活動したことはなく、今後も活動しないと思う」の割合が高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ高台寺小学校区において「活動している」の割合が 43.3%、神島田小学校区において「活動したことはなく、今後も活動しないと思う」の割合が 41.0%と高くなっています。



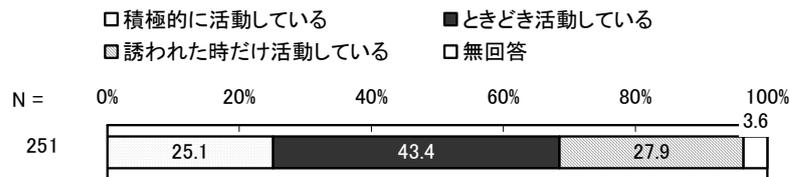
- 活動している
- 現在は活動していないが、過去に活動したことがある
- ▨ 活動したことはないが、今後活動したい
- 活動したことはなく、今後も活動しないと思う
- 無回答



<問 15 で「1. 活動している」と答えた方にお聞きします>

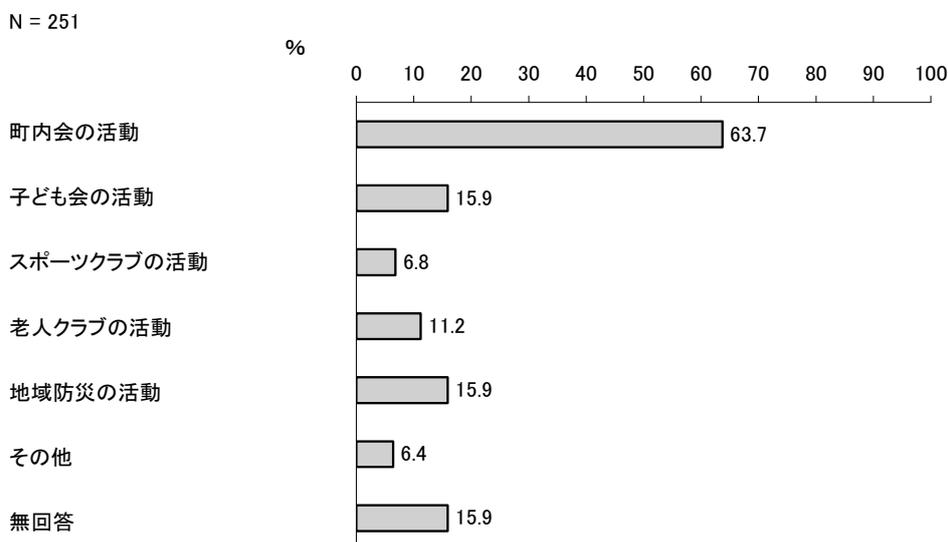
問 15-1 どの程度活動をしていますか。(1つの番号に○)

「ときどき活動している」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「誘われた時だけ活動している」の割合が 27.9%、「積極的に活動している」の割合が 25.1%となっています。



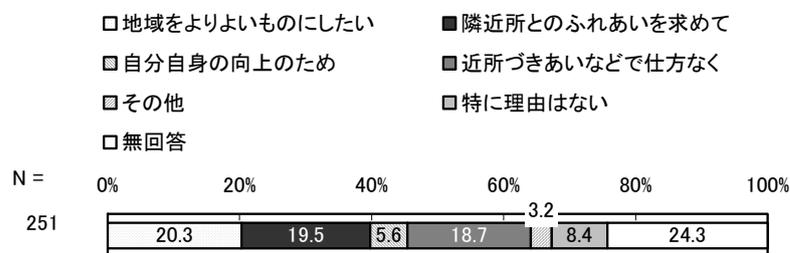
問 15-2 どのような活動をしていますか。(あてはまるものすべての番号に○)

「町内会の活動」の割合が63.7%と最も高く、次いで「子ども会の活動」と「地域防災の活動」の割合が15.9%となっています。



問 15-3 どのような目的で活動していますか (1つの番号に○)

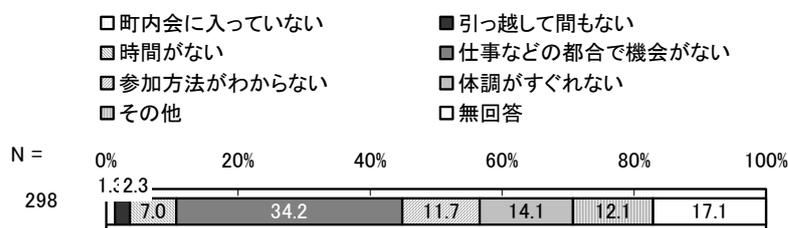
「地域をよりよいものにしたい」の割合が20.3%と最も高く、次いで「隣近所とのふれあいを求めて」の割合が19.5%、「近所づきあいなどで仕方なく」の割合が18.7%となっています。



<問 15 で「2. 現在は活動していないが、過去に活動したことがある」「3. 活動したことがないが、今後活動したい」と答えた方にお聞きします>

問 15-4 現在活動していない理由は何ですか。(1つの番号に○)

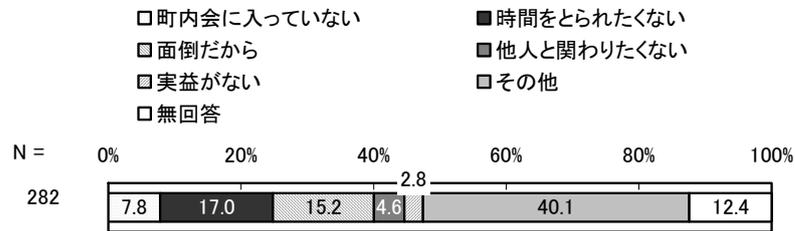
「仕事などの都合で機会がない」の割合が34.2%と最も高く、次いで「体調がすぐれない」の割合が14.1%、「参加方法がわからない」の割合が11.7%となっています。



<問 15 で「4. 活動したことはなく、今後も活動しないと思う」と答えた方にお聞きします>

問 15-5 今後も活動しないと思う理由は何ですか。(1つの番号に○)

「その他」を除き、「時間をとられたくない」の割合が 17.0%と最も高く、次いで「面倒だから」の割合が 15.2%、「町内会に入っていない」の割合が 7.8%となっています。

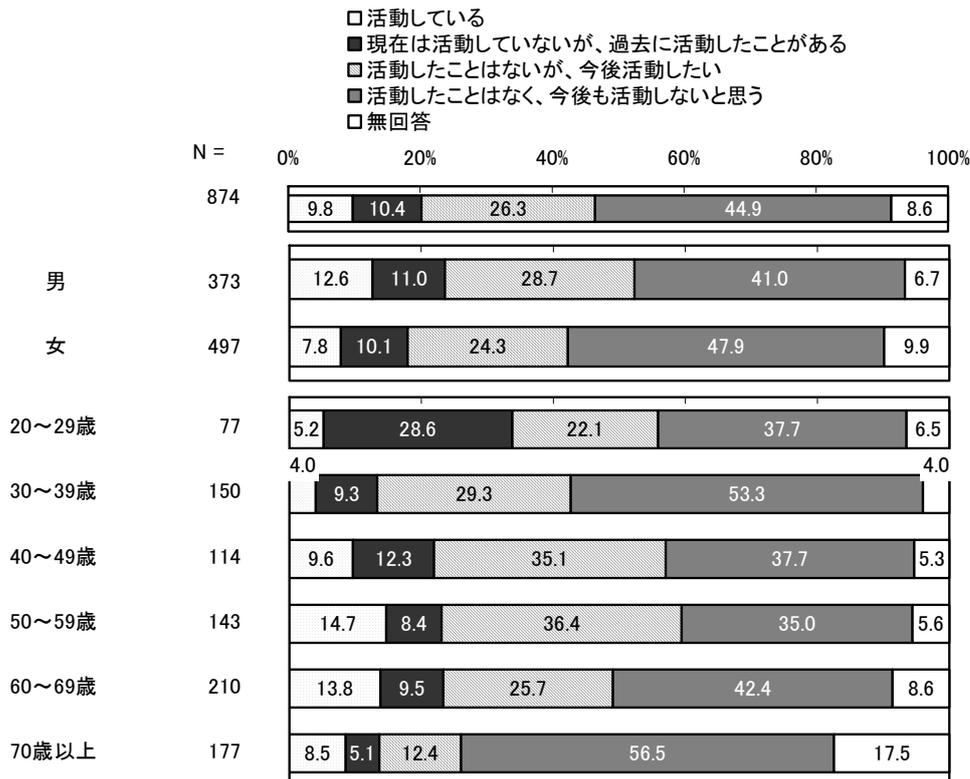


問 16 あなたはボランティア活動をしていますか。(1つの番号に○)

「活動したことはなく、今後も活動しないと思う」の割合が 44.9%と最も高く、次いで「活動したことはないが、今後活動したい」の割合が 26.3%、「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」の割合が 10.4%となっています。

性別では、男性に比べ女性において「活動したことはなく、今後も活動しないと思う」の割合が 47.9%と高くなっています。

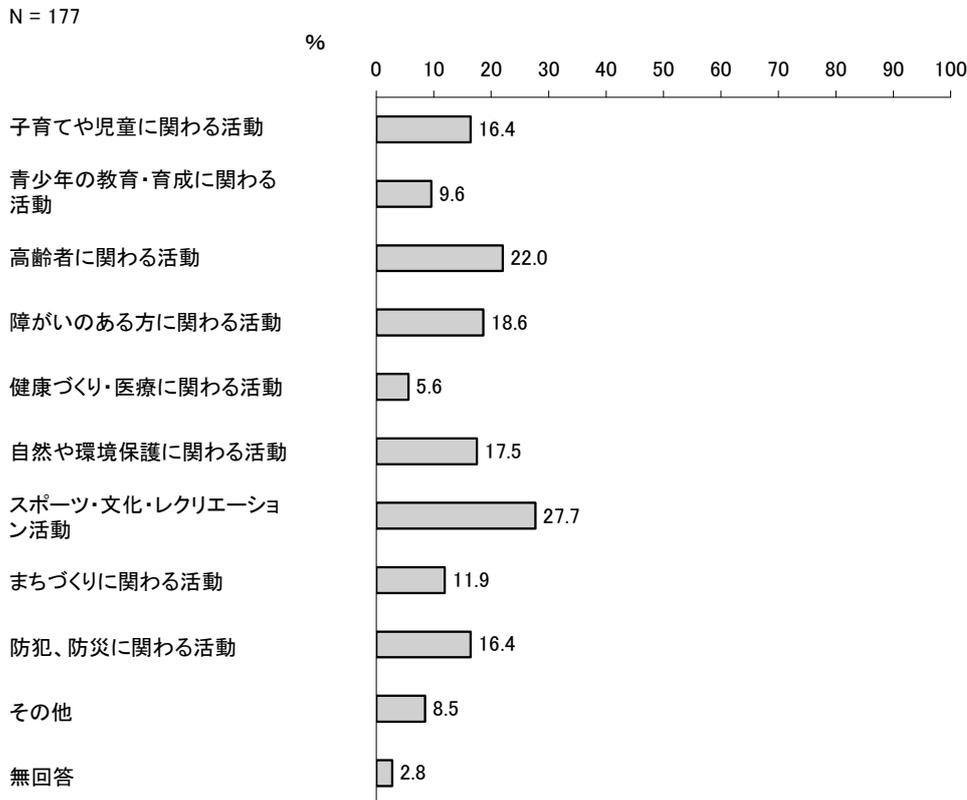
年齢別では、他の年齢に比べ 20～29 歳において「現在は活動していないが、過去に活動したことがある」の割合が 28.6%と高くなっています。また、30～39 歳、70 歳以上において「活動したことはなく、今後も活動しないと思う」の割合が高くなっています。



<問 16 で「1. 活動している」「2. 現在は活動していないが、過去に活動したことがある」と答えた方にお聞きします>

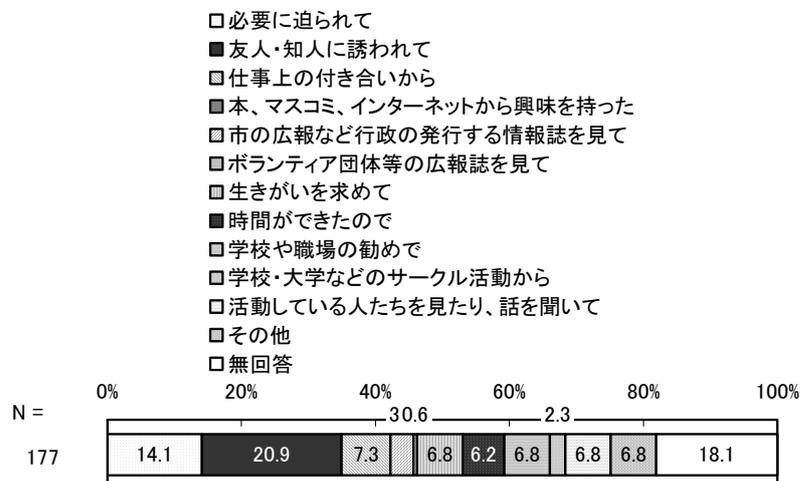
問 16-1 どのようなボランティア活動をしていますか。(していましたか。)
(あてはまるすべての番号に○)

「スポーツ・文化・レクリエーション活動」の割合が 27.7%と最も高く、次いで「高齢者に関わる活動」の割合が 22.0%、「障がいのある方に関わる活動」の割合が 18.6%となっています。



問 16-2 ボランティア活動をはじめたきっかけは何ですか。(1つの番号に○)

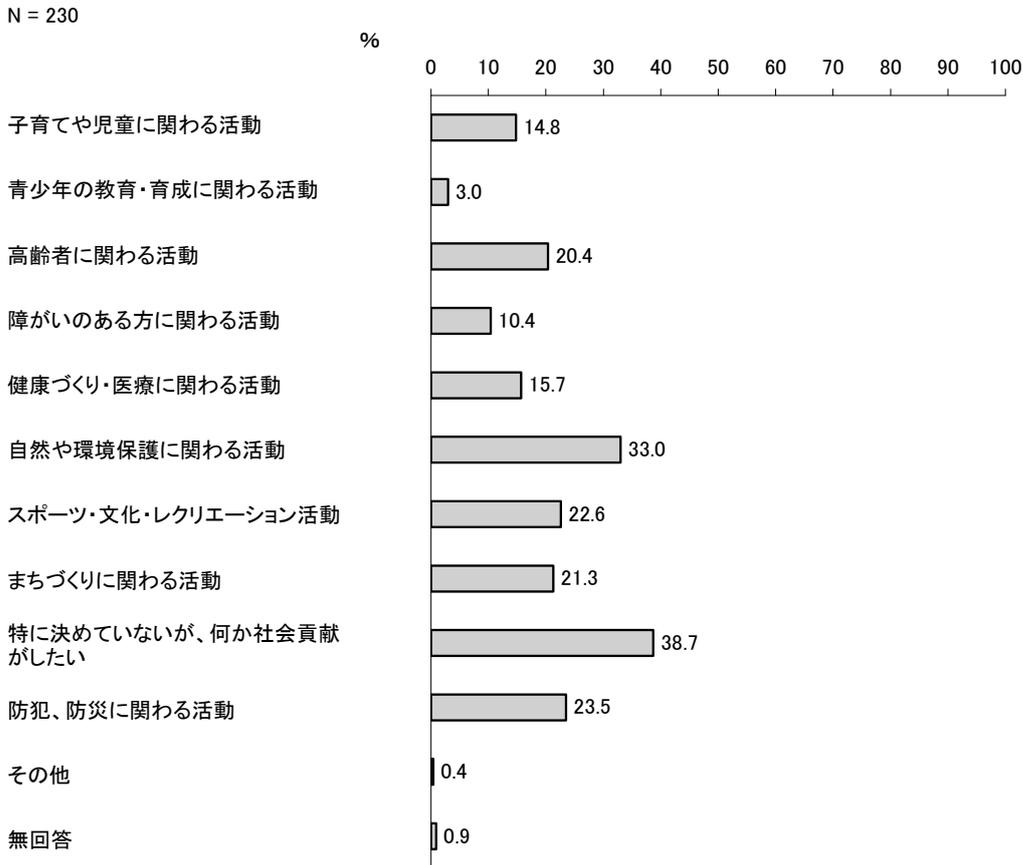
「友人・知人に誘われて」の割合が 20.9%と最も高く、次いで「必要に迫られて」の割合が 14.1%、「仕事上の付き合いから」の割合が 7.3%となっています。



<問 16 で「3. 活動したことはないが、今後活動したい」と答えた方にもお聞きします>

**問 16-3 今後、どのようなボランティア活動に参加したいと思いますか。
(あてはまるすべての番号に○)**

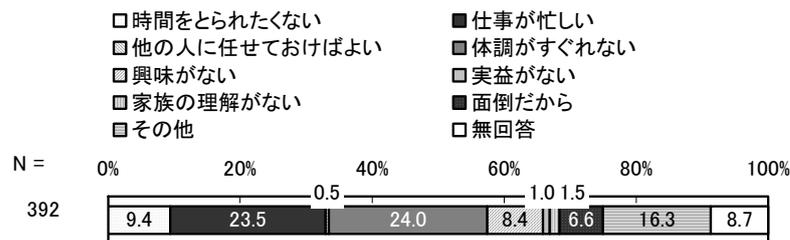
「特に決めていないが、何か社会貢献がしたい」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「自然や環境保護に関わる活動」の割合が 33.0%、「防犯、防災に関わる活動」の割合が 23.5%となっています。



<問 16 で「4. 活動したことはなく、今後も活動しないと思う」と答えた方にお聞きします>

問 16-4 活動しない理由は何ですか。(1つの番号に○)

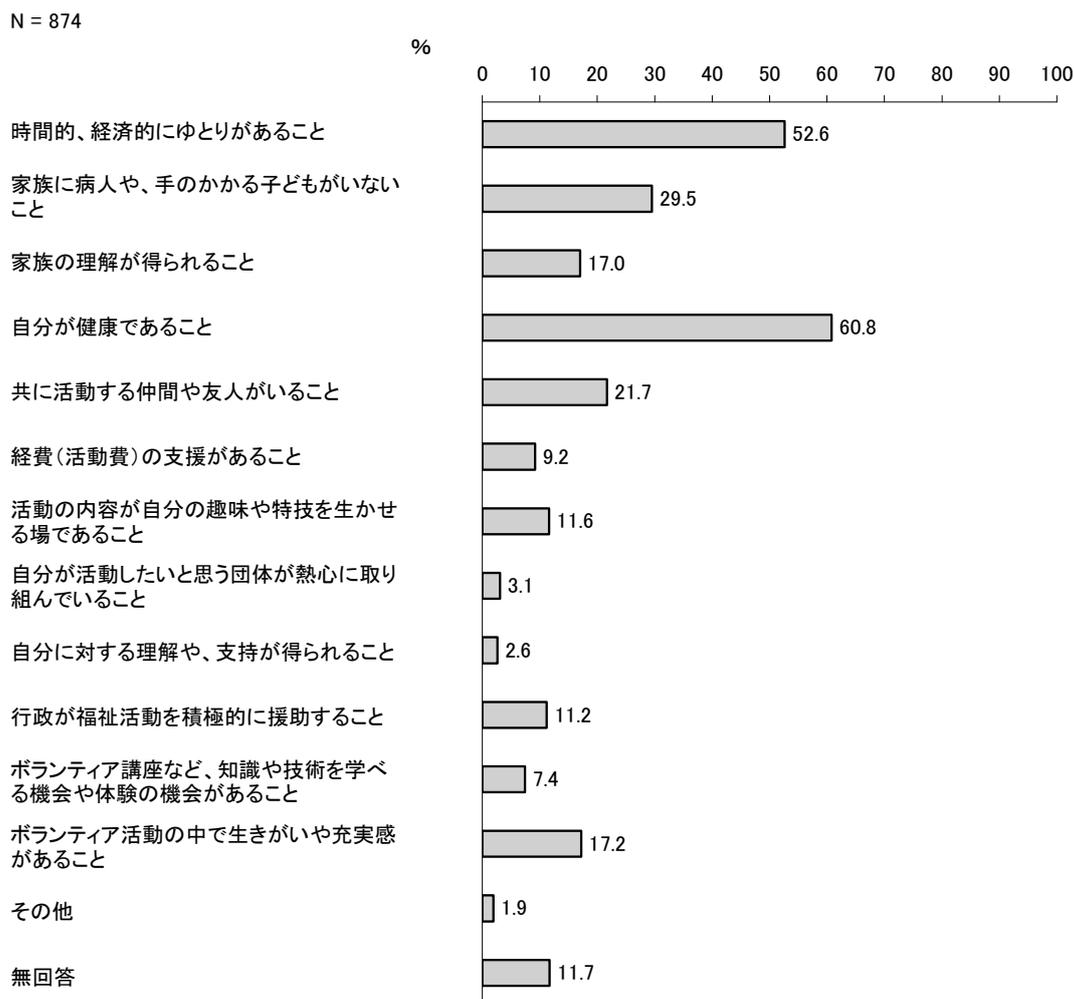
「体調がすぐれない」の割合が 24.0%と最も高く、次いで「仕事が忙しい」の割合が 23.5%、「時間をとられたくない」の割合が 9.4%となっています。



すべての方がお答えください。

問 17 地域の中でボランティア活動をすすめていく上で、必要な条件はどのようなことだとお考えですか。(3つまで番号に○)

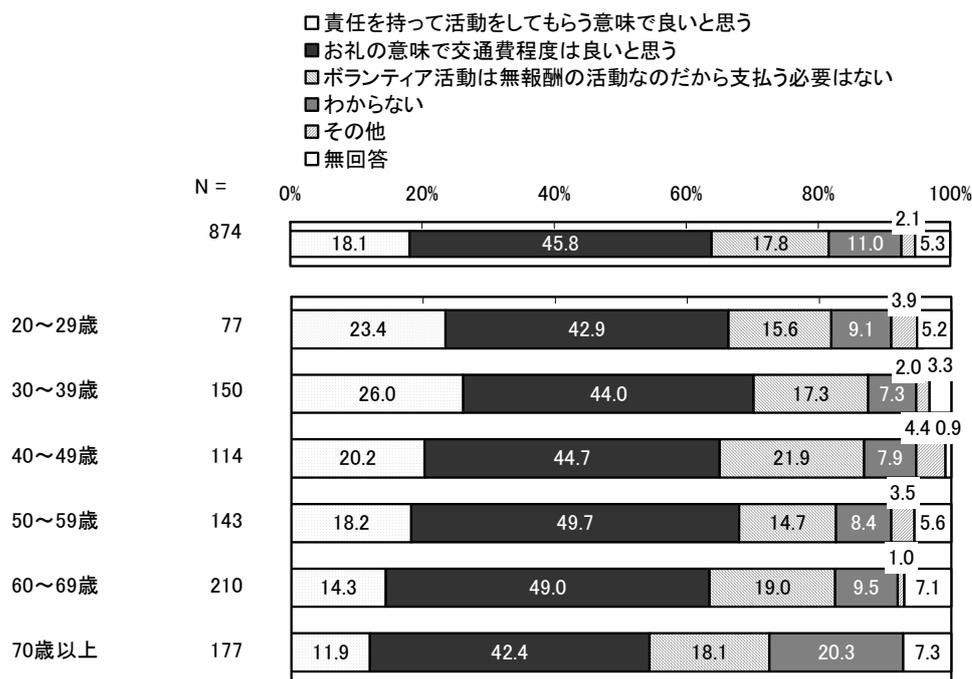
「自分が健康であること」の割合が60.8%と最も高く、次いで「時間的、経済的にゆとりがあること」の割合が52.6%、「家族に病人や、手のかかる子どもがいないこと」の割合が29.5%となっています。



問 18 ボランティアにその活動の対価として報酬を支給することについて、あなたはどのようにお考えですか。（1つの番号に○）

「お礼の意味で交通費程度は良いと思う」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「責任を持って活動をしてもらう意味で良いと思う」の割合が 18.1%、「ボランティア活動は無報酬の活動なのだから支払う必要はない」の割合が 17.8%となっています。

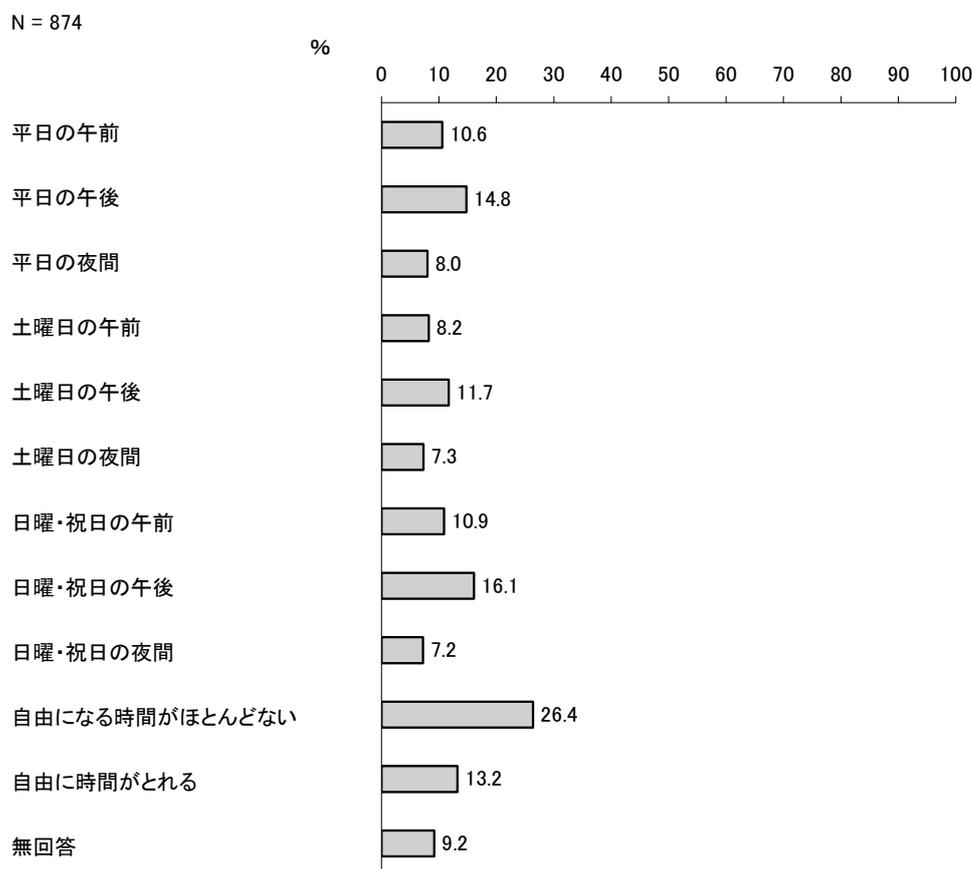
年齢別では、他の年齢に比べ 50～69 歳において「お礼の意味で交通費程度は良いと思う」の割合が、30～39 歳において「責任を持って活動をしてもらう意味で良いと思う」の割合が高くなっています。



問 19 あなたが、自由になる時間帯はいつですか。(あてはまるすべての番号に○)

「自由になる時間がほとんどない」の割合が 26.4%と最も高く、次いで「日曜・祝日の午後」の割合が 16.1%、「平日の午後」の割合が 14.8%となっています。

年齢別では、他の年齢に比べ 20～39 歳において「自由になる時間がほとんどない」の割合が高くなっています。



(単位：%)

項目	有効回答数 (件)	平日の午前	平日の午後	平日の夜間	土曜日の午前	土曜日の午後	土曜日の夜間	日曜・祝日の午前	日曜・祝日の午後	日曜・祝日の夜間	自由になる時間がほとんどない	自由に時間がとれる	無回答
20～29 歳	77	1.3	3.9	22.1	16.9	18.2	16.9	22.1	28.6	22.1	40.3	2.6	3.9
30～39 歳	150	11.3	6.0	8.0	8.7	11.3	10.7	8.7	12.7	7.3	50.0	1.3	2.0
40～49 歳	114	6.1	7.9	9.6	9.6	18.4	12.3	17.5	28.1	14.0	28.1	6.1	4.4
50～59 歳	143	10.5	16.8	8.4	11.9	15.4	7.7	15.4	22.4	8.4	23.8	9.1	2.1
60～69 歳	210	13.3	21.4	5.2	5.7	10.0	4.3	9.5	12.4	2.9	18.1	17.1	14.8
70 歳以上	177	14.1	21.5	4.0	3.4	4.0	0.6	1.7	5.6	0.6	11.9	29.9	19.8

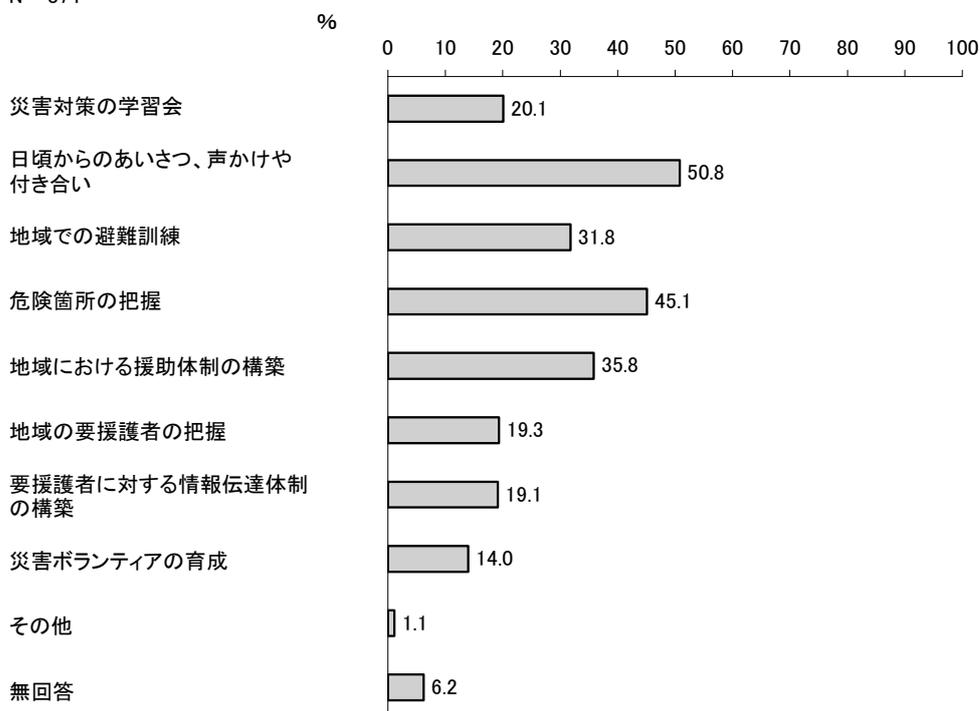
4. 災害時における助け合いについてお聞きします。

問 20 東海地震や東南海地震等の発生が予測される中で、災害時における地域の助け合いは、非常に重要なことです。あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。（3つまで番号に○）

「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」の割合が50.8%と最も高く、次いで「危険箇所の把握」の割合が45.1%、「地域における援助体制の構築」の割合が35.8%となっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ北小学校区、高台寺小学校区で「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」の割合が、神島田小学校区で「地域での避難訓練」の割合が、蛭間小学校区で「災害対策の学習会」の割合が、西小学校区で「地域における援助体制の構築」の割合が高くなっています。

N = 874

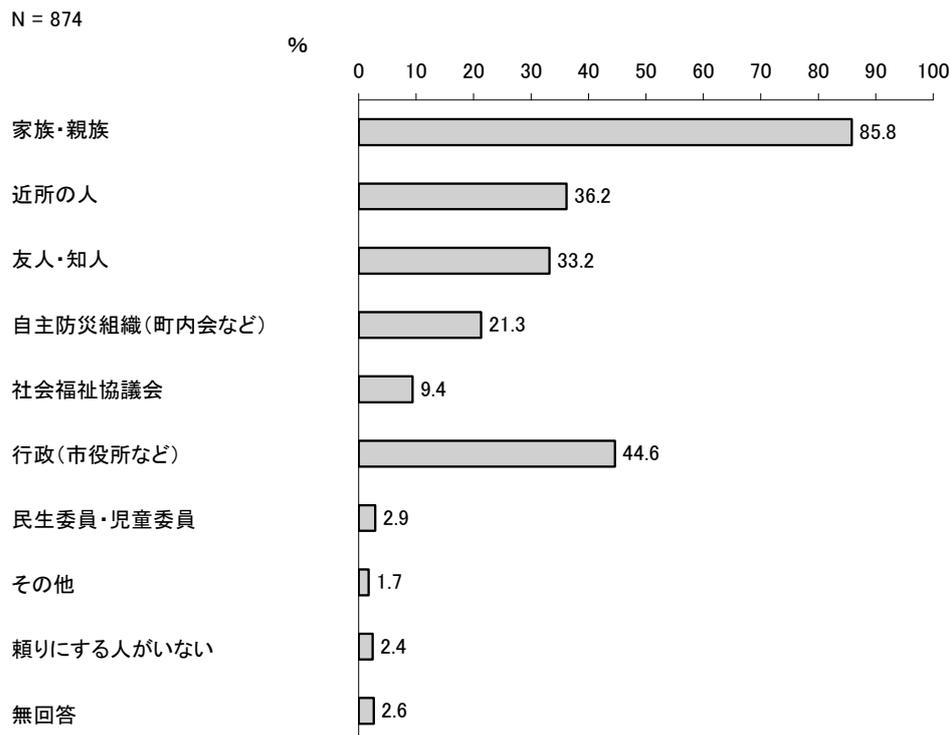


項目	有効回答数 (件)	災害対策の学習会	日頃からのあいさつ、声かけや付き合い	地域での避難訓練	危険箇所の把握	地域における援助体制の構築	地域の要援護者の把握	要援護者に対する情報伝達体制の構築	災害ボランティアの育成	その他	無回答
東小学校区	105	23.8	50.5	25.7	47.6	30.5	16.2	21.0	18.1	1.9	7.6
西小学校区	126	19.0	48.4	31.0	38.1	40.5	19.8	16.7	11.1	1.6	8.7
南小学校区	107	15.9	43.9	29.9	43.0	37.4	25.2	24.3	15.0	-	5.6
北小学校区	87	24.1	57.5	21.8	41.4	36.8	23.0	24.1	8.0	1.1	1.1
神守小学校区	111	16.2	54.1	28.8	48.6	28.8	16.2	14.4	13.5	0.9	10.8
蛭間小学校区	106	27.4	52.8	39.6	44.3	39.6	23.6	19.8	11.3	-	1.9
高台寺小学校区	104	19.2	56.7	36.5	51.0	39.4	22.1	12.5	16.3	1.9	4.8
神島田小学校区	100	19.0	47.0	41.0	52.0	33.0	9.0	20.0	18.0	1.0	6.0
わからない	19	15.8	47.4	26.3	36.8	42.1	15.8	26.3	21.1	5.3	-

問 21 被災後の生活において、あなたは誰を頼りにしますか。(あてはまるすべての番号に○)

「家族・親族」の割合が 85.8%と最も高く、次いで「行政（市役所など）」の割合が 44.6%、「近所の人」の割合が 36.2%となっています。

年齢別では、他の年齢に比べ 20～29 歳において「行政（市役所など）」の割合が 23.4%と低くなっています。また、50 歳以上において「自主防災組織（町内会など）」の割合が高くなっています。



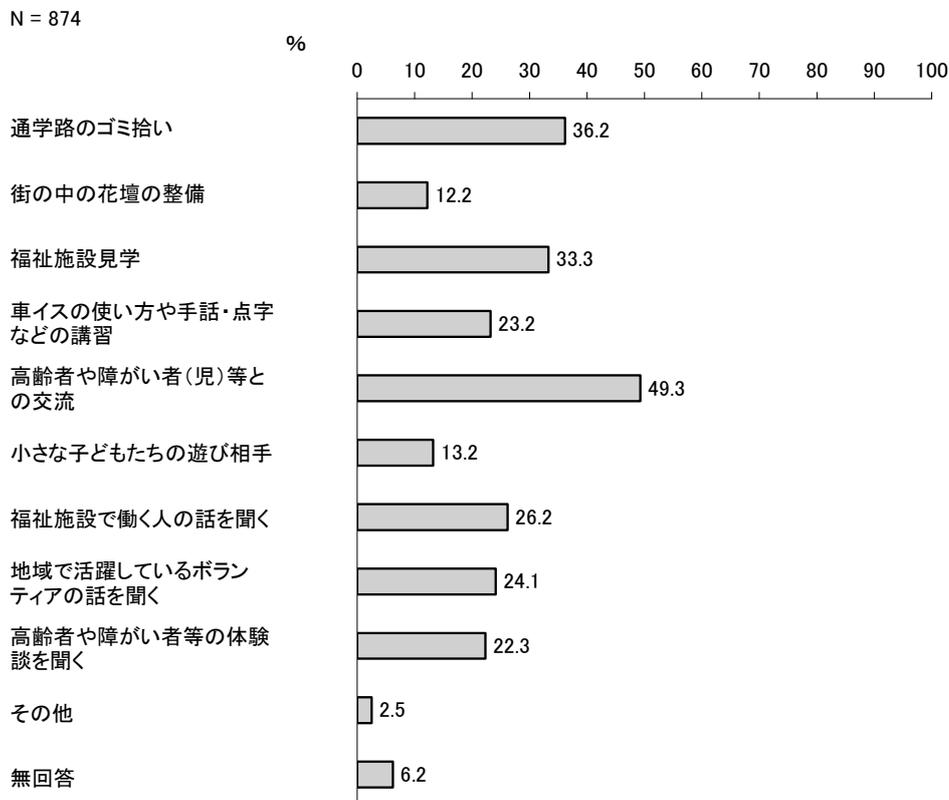
(単位：%)

項目	有効回答数(件)	家族・親族	近所の人	友人・知人	自主防災組織(町内会など)	社会福祉協議会	行政(市役所など)	民生委員・児童委員	その他	頼りにする人がいない	無回答
20～29 歳	77	88.3	23.4	44.2	6.5	2.6	23.4	1.3	5.2	3.9	3.9
30～39 歳	150	92.0	32.7	42.0	16.0	7.3	40.0	2.7	2.0	2.0	1.3
40～49 歳	114	88.6	31.6	36.0	14.0	7.0	47.4	3.5	1.8	2.6	0.9
50～59 歳	143	85.3	38.5	37.1	26.6	6.3	53.1	2.1	1.4	1.4	2.1
60～69 歳	210	83.8	40.0	30.0	26.7	12.9	48.6	2.9	0.5	2.9	3.3
70 歳以上	177	80.8	41.2	20.3	26.6	14.1	45.2	4.0	1.7	1.7	4.0

5. 福祉教育についてお聞きします。

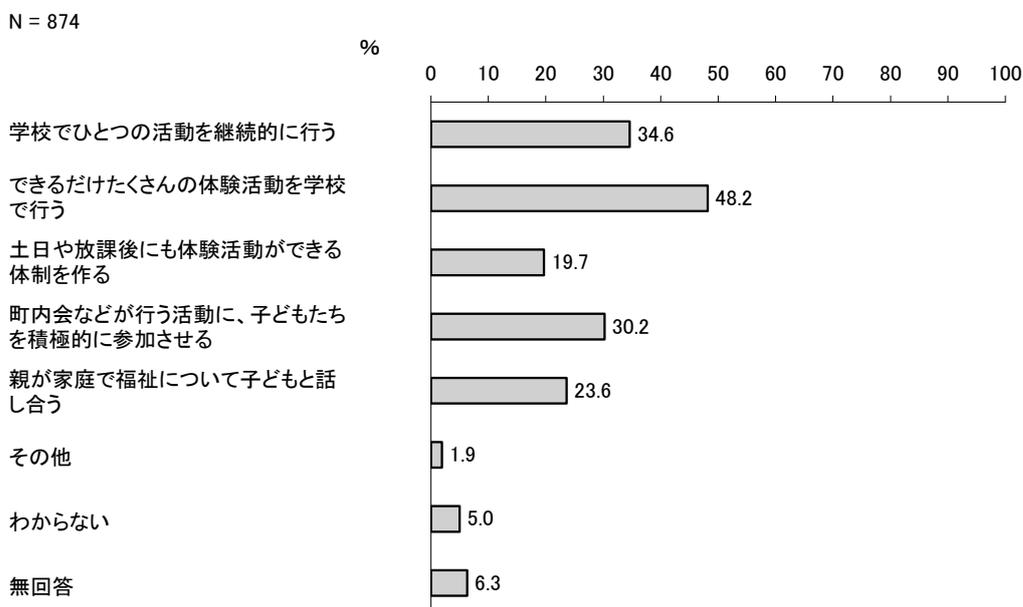
問 22 学校の中で福祉教育を取り入れるにあたり、どのような方法が有効だと思いますか。(3つまで番号に○)

「高齢者や障がい者(児)等との交流」の割合が49.3%と最も高く、次いで「通学路のゴミ拾い」の割合が36.2%、「福祉施設見学」の割合が33.3%となっています。



問 23 子どもたちの福祉の心を育てるためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。(2つまで番号に○)

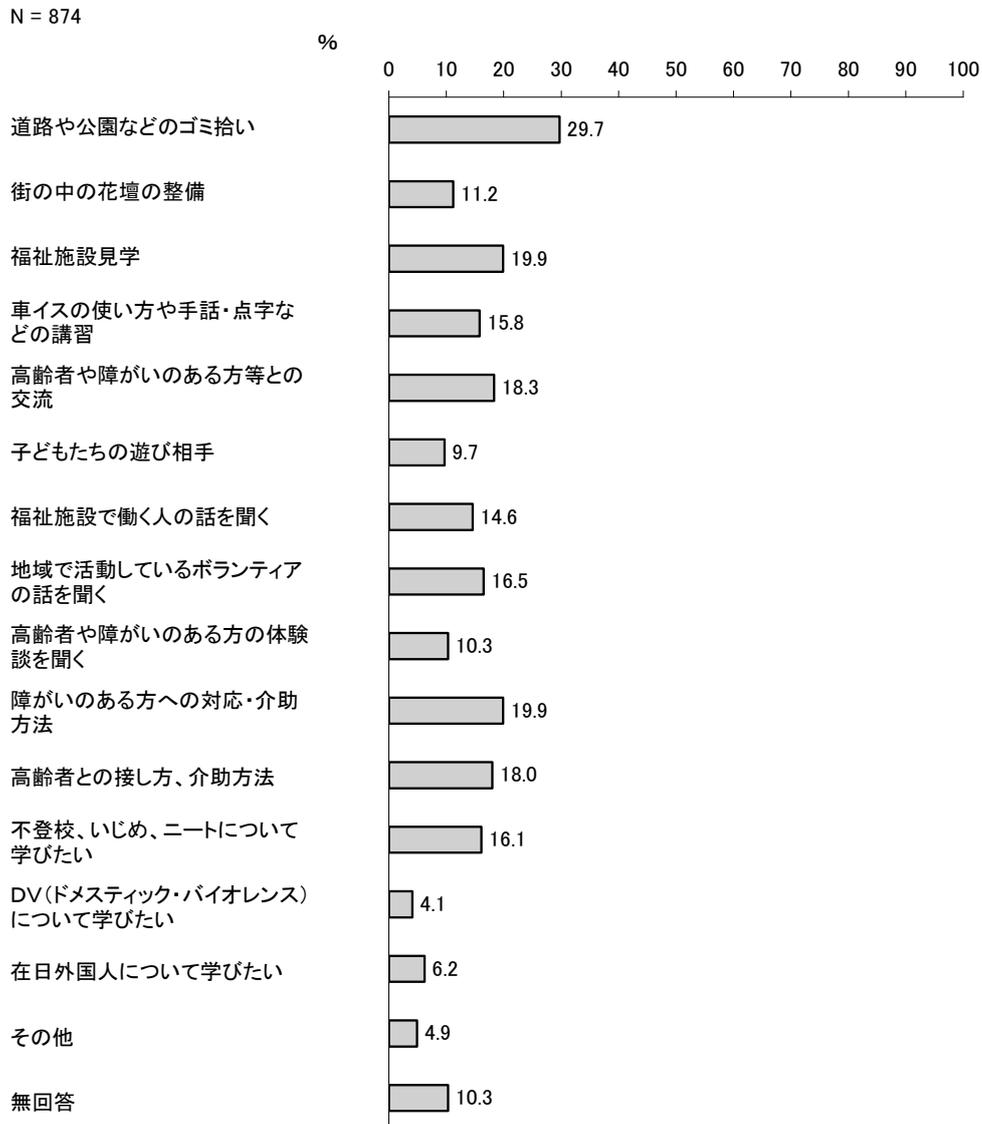
「できるだけたくさんの体験活動を学校で行う」の割合が48.2%と最も高く、次いで「学校でひとつの活動を継続的に行う」の割合が34.6%、「町内会などが行う活動に、子どもたちを積極的に参加させる」の割合が30.2%となっています。



6. 地域の課題についてお聞きします。

問 24 あなたは地域の中で、どのようなことを学んだり、活動したいと思いますか。
(3つまで番号に○)

「道路や公園などのゴミ拾い」の割合が 29.7%と最も高く、次いで「福祉施設見学」の割合が 19.9%、「障がいのある方への対応・介助方法」の割合が 19.9%となっています。



問 25 あなたはお住まいの地区の生活環境をどのようにお考えですか。
 (以下の各項目について、あてはまる番号に○)

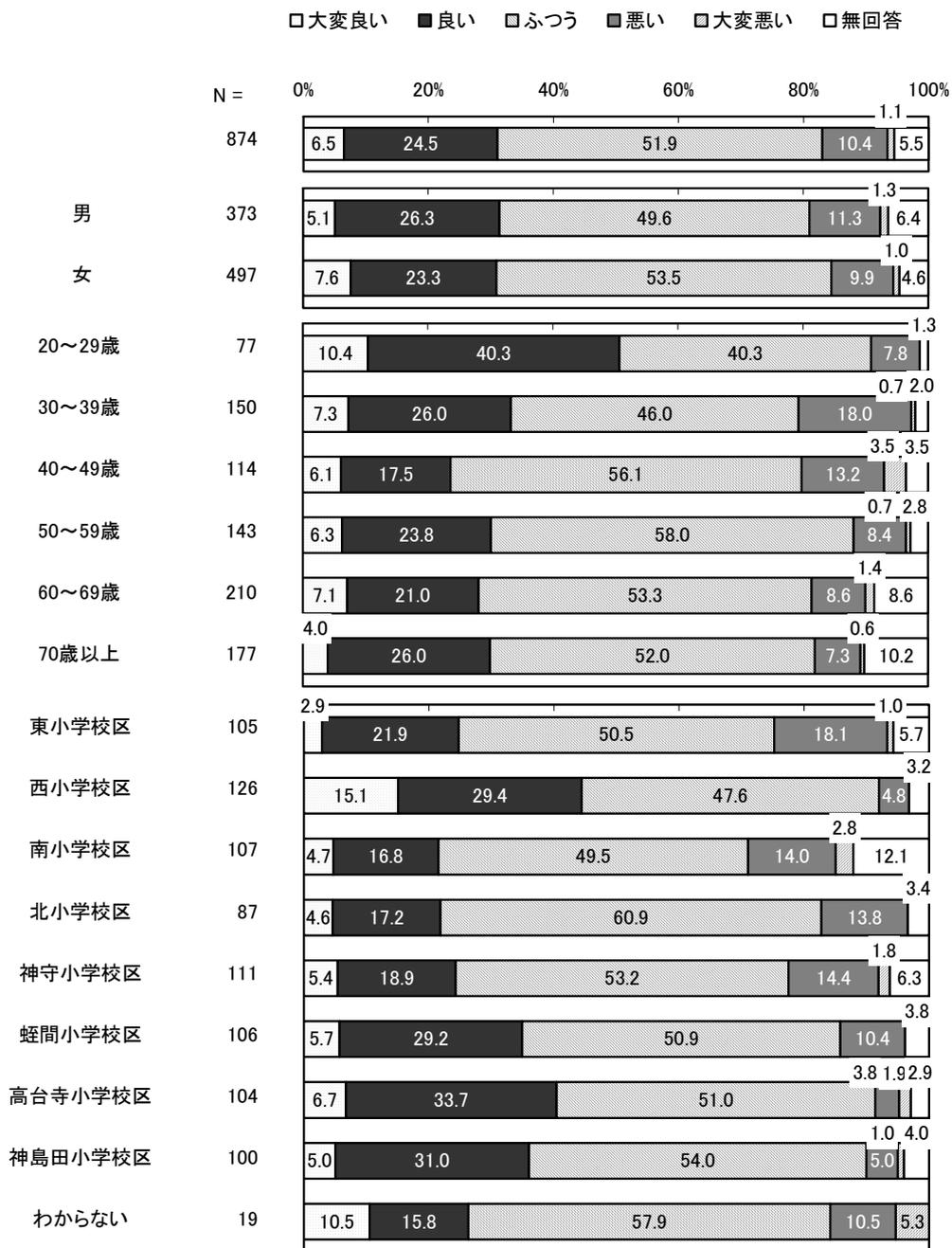
①自然環境の豊かさ

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 31.0%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 11.5%となっています。

性別では、大きな差異はありません。

年齢別では、他の年齢に比べ 20～29 歳において良い割合が 50.7%と高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ西小学校区、高台寺小学校区において良い割合が高くなっています。



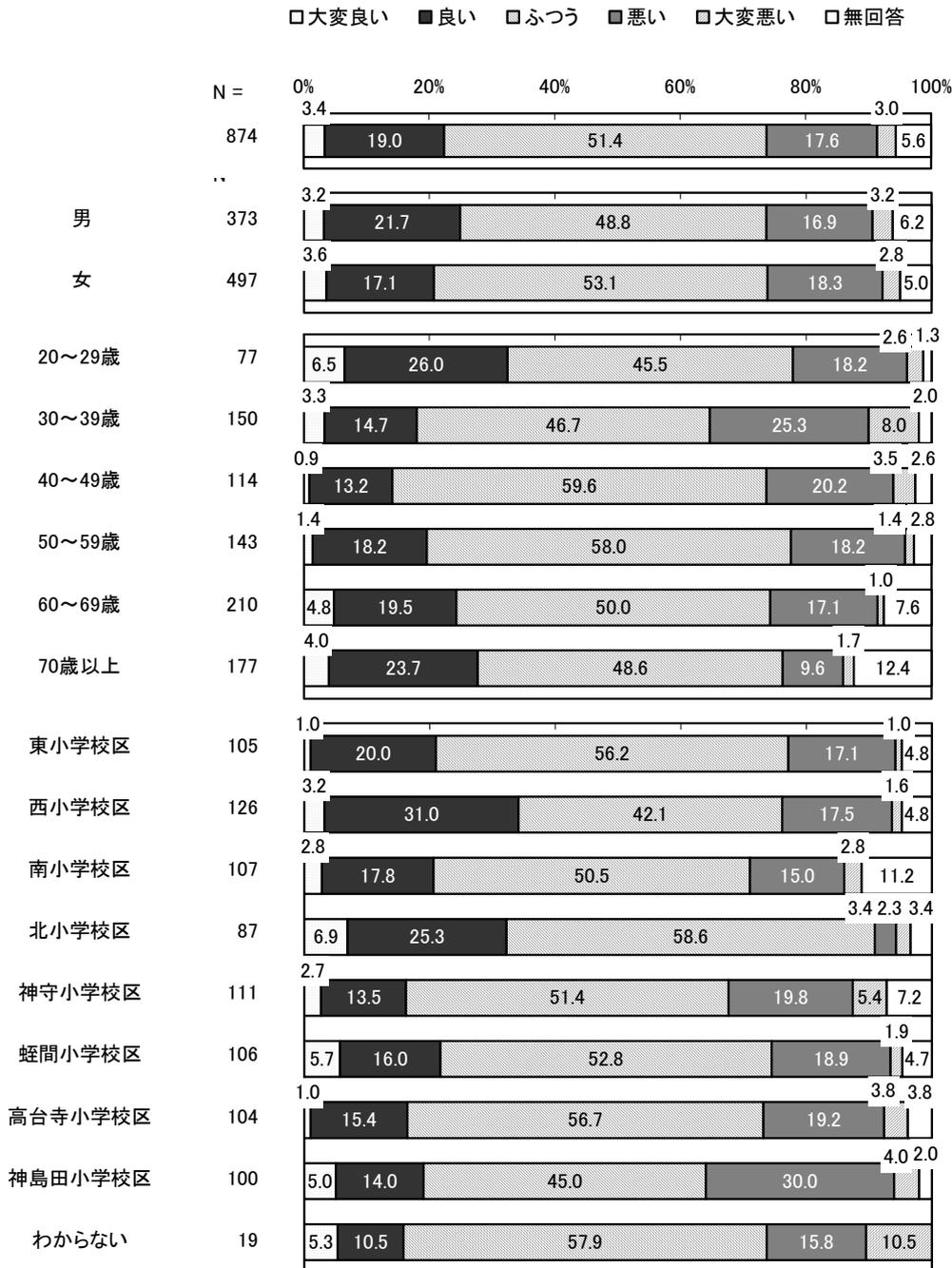
②防犯（犯罪の少なさ）

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 22.4%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 20.6%となっています。

性別では、女性に比べ男性において良い割合が 24.9%と高くなっています。

年齢別では、他の年齢に比べ 20～29 歳、70 歳以上において良い割合が高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ西小学校区において良い割合が 34.2%と高くなっています。



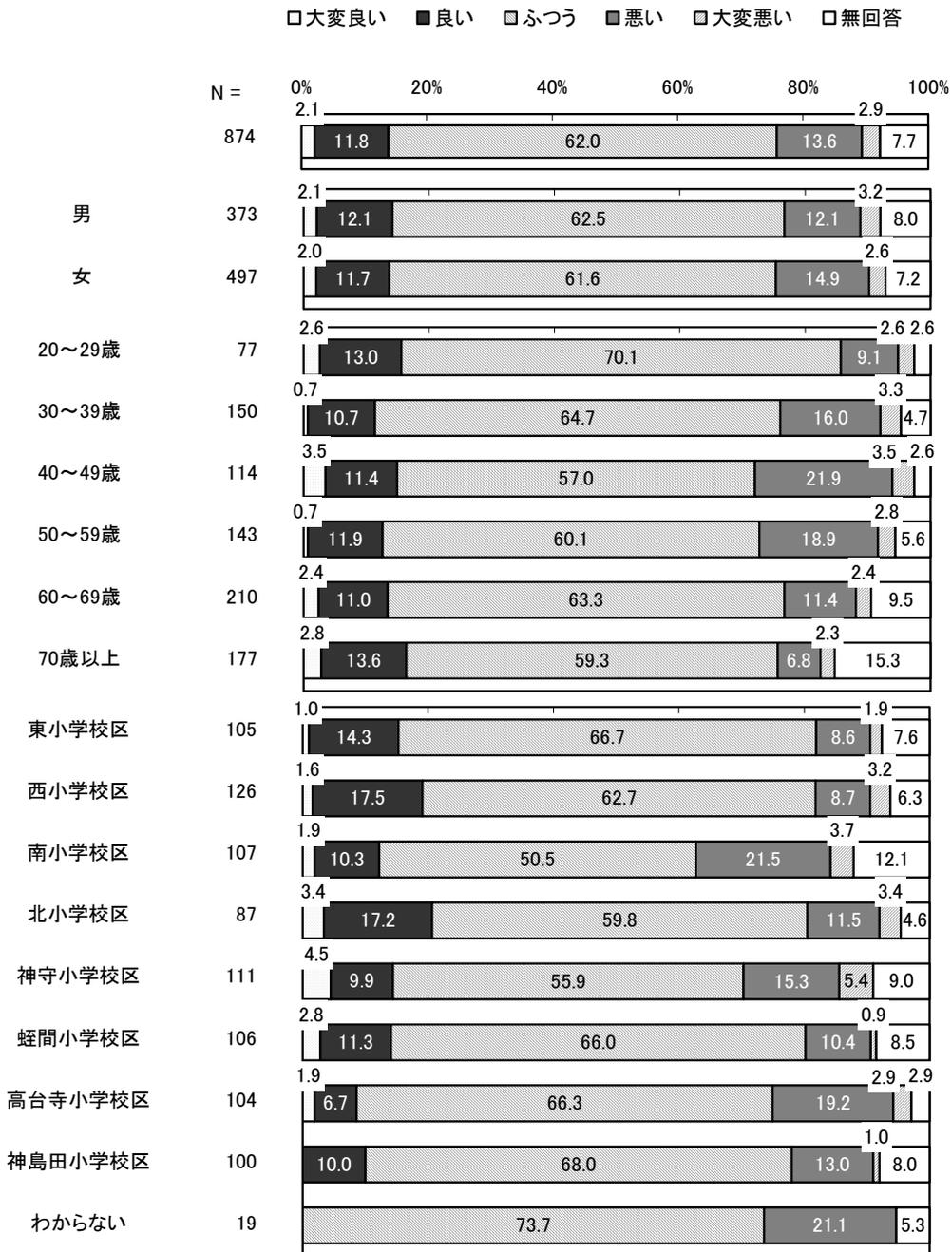
③防災（防災組織や避難所）

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 13.9%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 16.5%となっています。

性別では、大きな差異はありません。

年齢別では、他の年齢に比べ 40 歳～59 歳において悪い割合が高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ北小学校区において良い割合が 20.6%、南小学校区、高台寺小学校区において悪い割合が高くなっています。



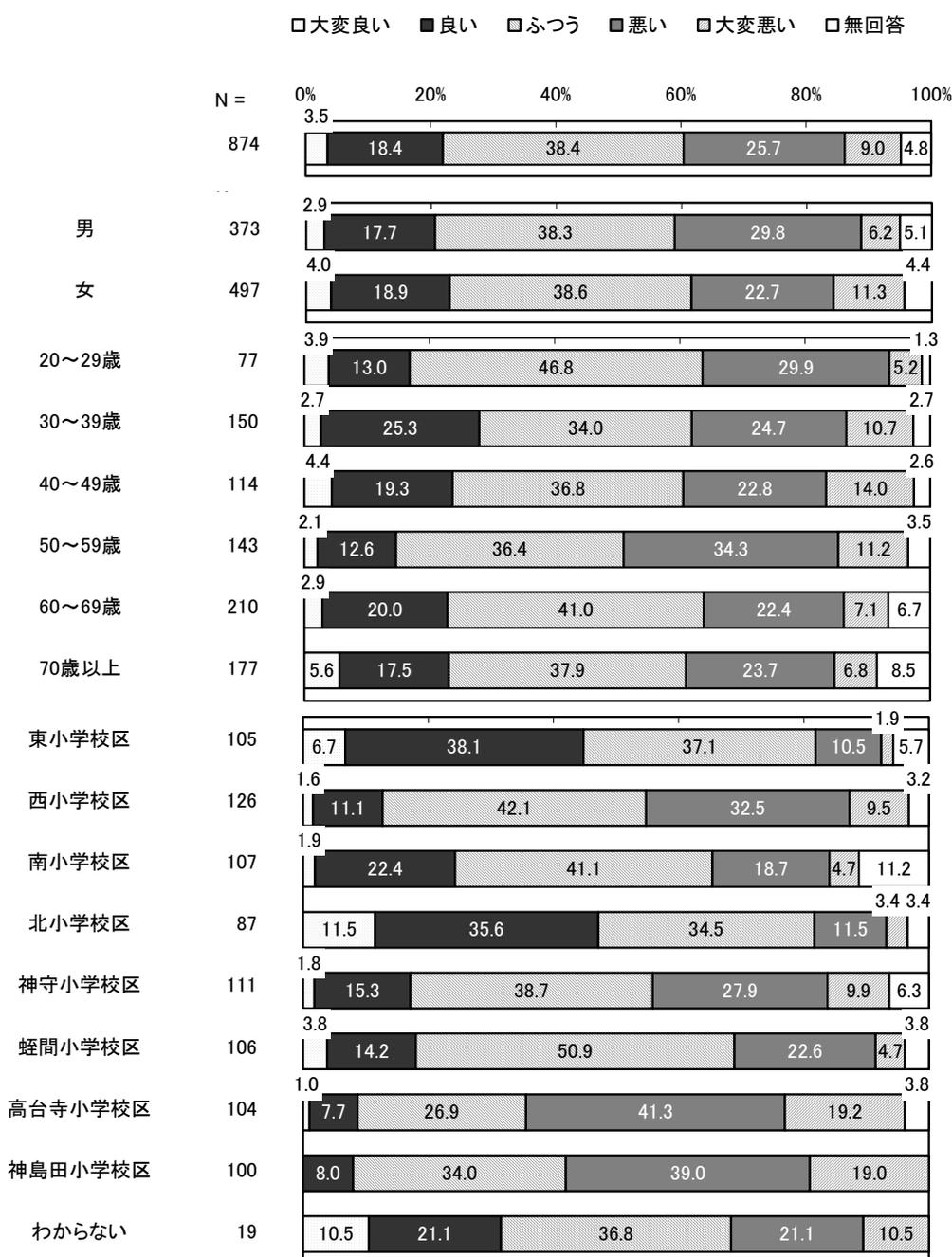
④交通の利便性

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 21.9%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 34.7%となっています。

性別では、大きな差異はありません。

年齢別では、他の年齢に比べ 30～39 歳において良い割合が 28.0%、50～59 歳において悪い割合が 45.5%と高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ東小学校区、北小学校区において良い割合が、西小学校区、高台寺小学校区、神島田小学校区において悪い割合が高くなっています。



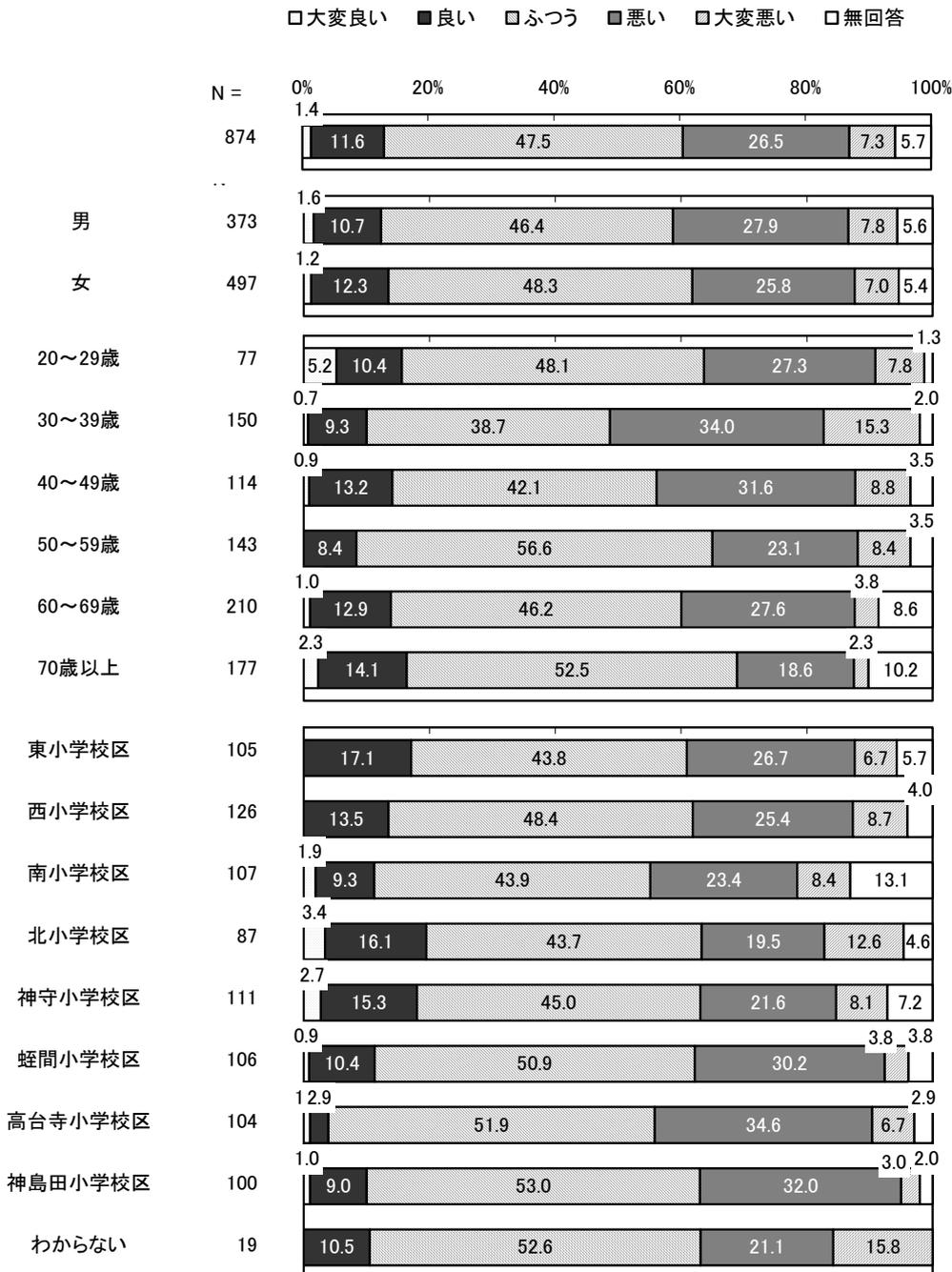
⑤道路の安全性・歩きやすさ

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 13.0%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 33.8%となっています。

性別では、大きな差異はありません。

年齢別では、他の年齢に比べ 30～49 歳において悪い割合が高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ高台寺小学校区において悪い割合が 41.3%と高くなっています。



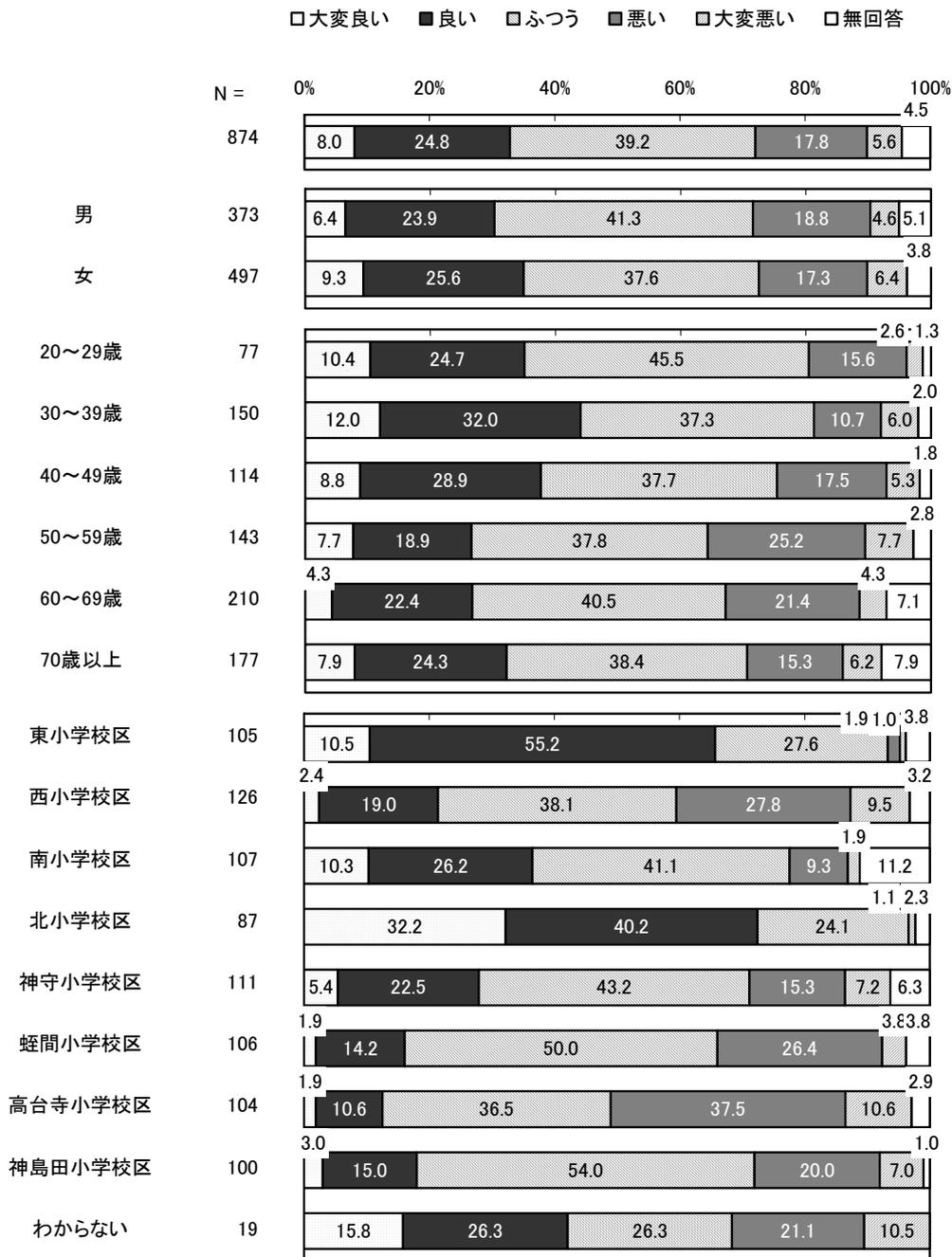
⑥買い物の便利さ

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 32.8%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 23.4%となっています。

性別では、男性に比べ女性において良い割合が 34.9%と高くなっています。

年齢別では、他の年齢に比べ 30～39 歳において良い割合が 44.0%、50～69 歳において悪い割合が高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ東小学校区、北小学校区において良い割合が、西小学校区、高台寺小学校区において悪い割合が高くなっています。



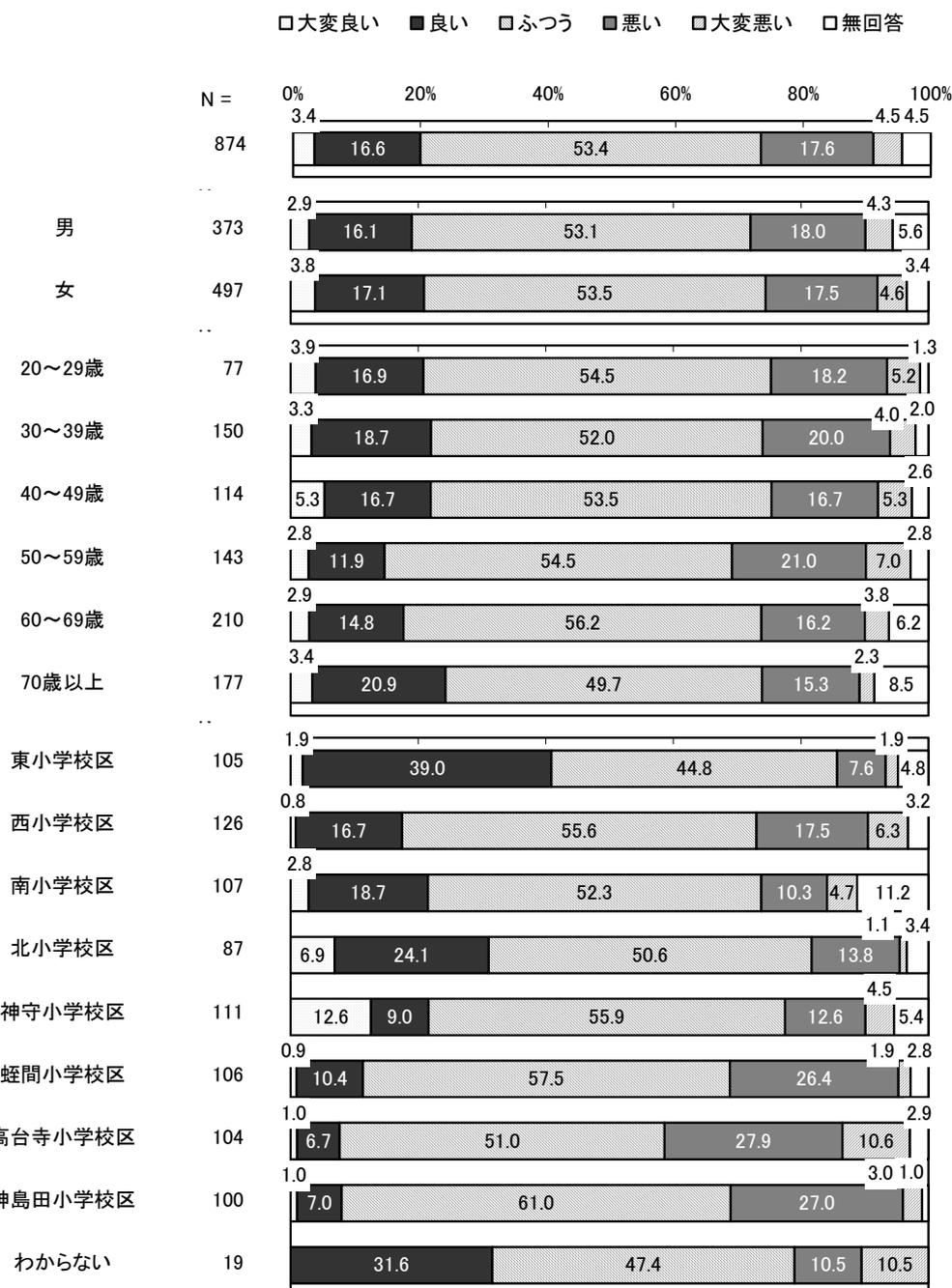
⑦病院・診療所の利用しやすさ

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 20.0%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 22.1%となっています。

性別では、大きな差異はありません。

年齢別では、他の年齢に比べ 50～59 歳において悪い割合が 28.0%と高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ東小学校区、北小学校区において良い割合が高く、高台寺小学校区において悪い割合が 38.5%と高くなっています。



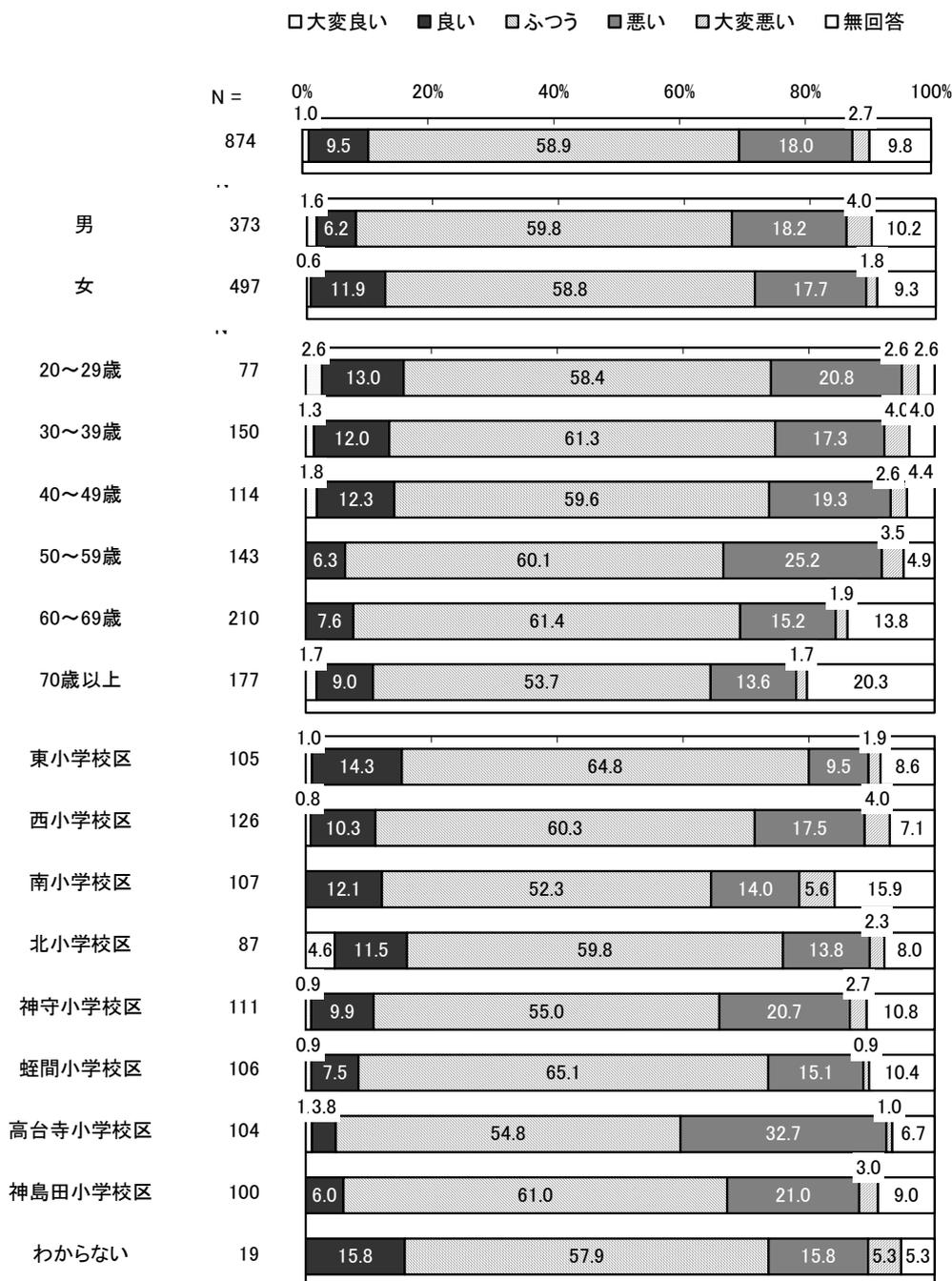
⑧公的施設等のバリアフリー

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 10.5%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 20.7%となっています。

性別では、男性に比べ女性において良い割合が 12.5%と高くなっています。

年齢別では、他の年齢に比べ 50～59 歳において悪い割合が 28.7%と高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ高台寺小学校区において悪い割合が 33.7%と高くなっています。



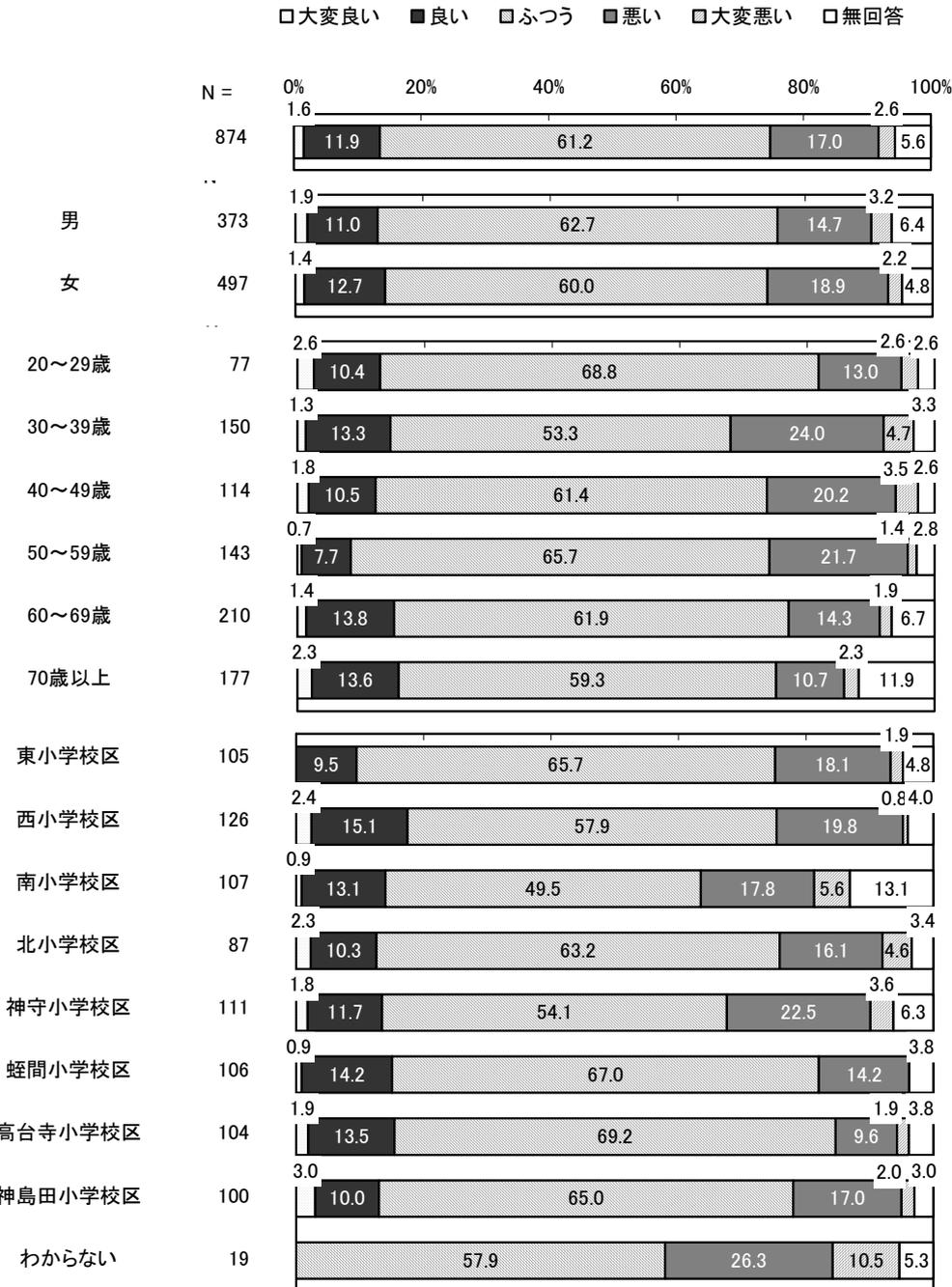
⑨住民同士のふれあいや交流

「大変良い」と「良い」をあわせた良い割合は 13.5%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた悪い割合は 19.6%となっています。

性別では、男性に比べ女性において悪い割合が 21.1%と高くなっています。

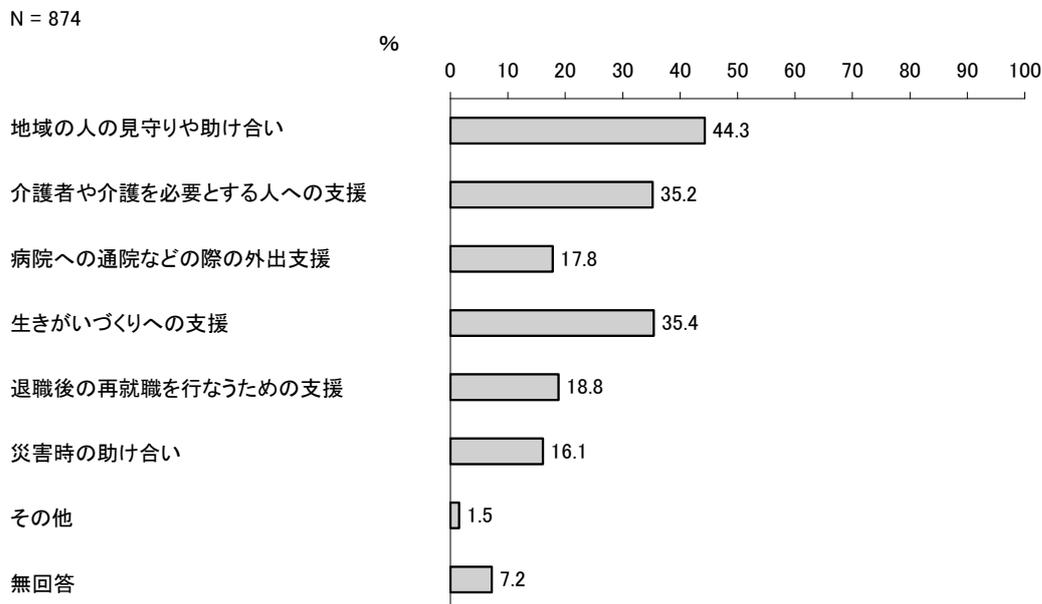
年齢別では、他の年齢に比べ 30～39 歳において悪い割合が 28.7%と高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ神守小学校区において悪い割合が 26.1%と高くなっています。



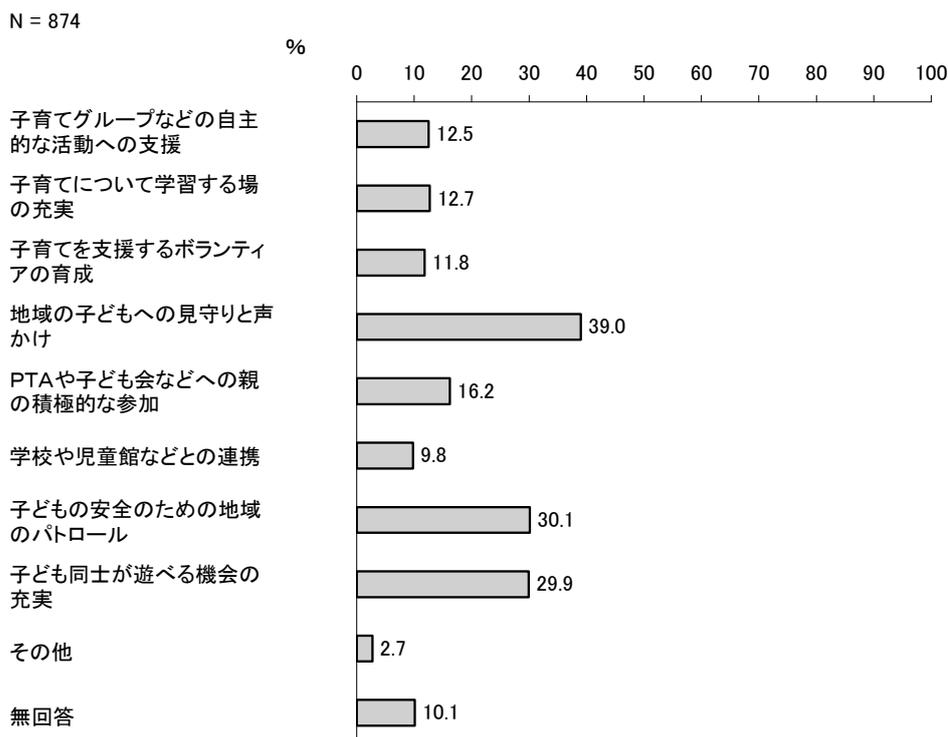
問 26 高齢者が社会参加しやすいようにするために、地域として取り組むべきことは何だと思いますか。(2つまで番号に○)

「地域の人の見守りや助け合い」の割合が44.3%と最も高く、次いで「生きがいきづくりへの支援」の割合が35.4%、「介護者や介護を必要とする人への支援」の割合が35.2%となっています。



問 27 子育てについて考えたとき、地域として取り組むべきことは何だと思いますか。(2つまで番号に○)

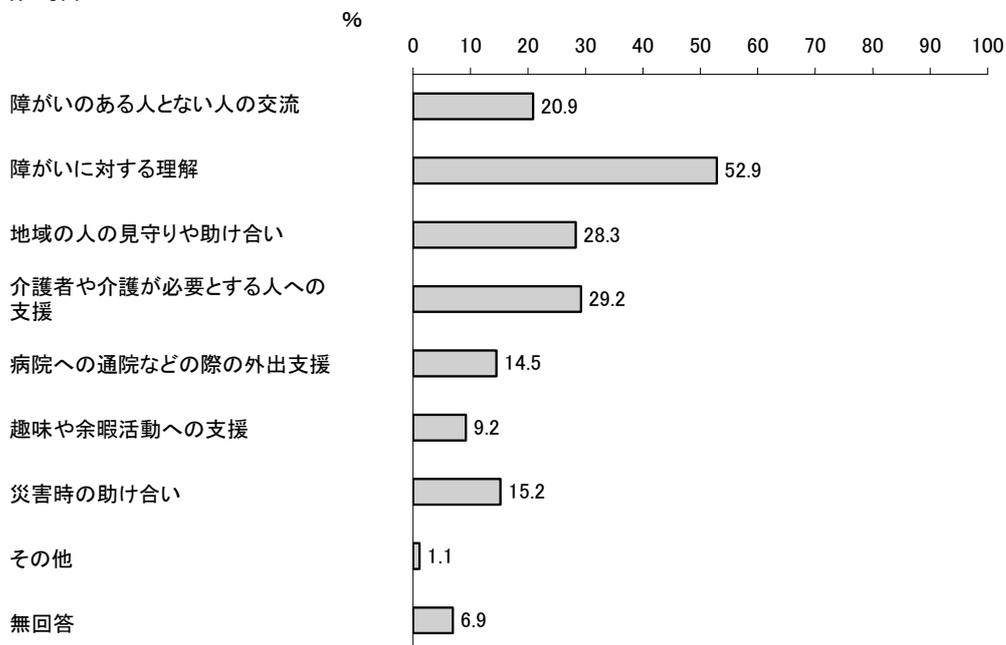
「地域の子どもへの見守りと声かけ」の割合が39.0%と最も高く、次いで「子どもの安全のための地域のパトロール」の割合が30.1%、「子ども同士が遊べる機会の充実」の割合が29.9%となっています。



問 28 障がいのある人が社会参加しやすいようにするために、地域として取り組むべきことは何だと思えますか。(2つまで番号に○)

「障がいに対する理解」の割合が52.9%と最も高く、次いで「介護者や介護が必要とする人への支援」の割合が29.2%、「地域の人の見守りや助け合い」の割合が28.3%となっています。

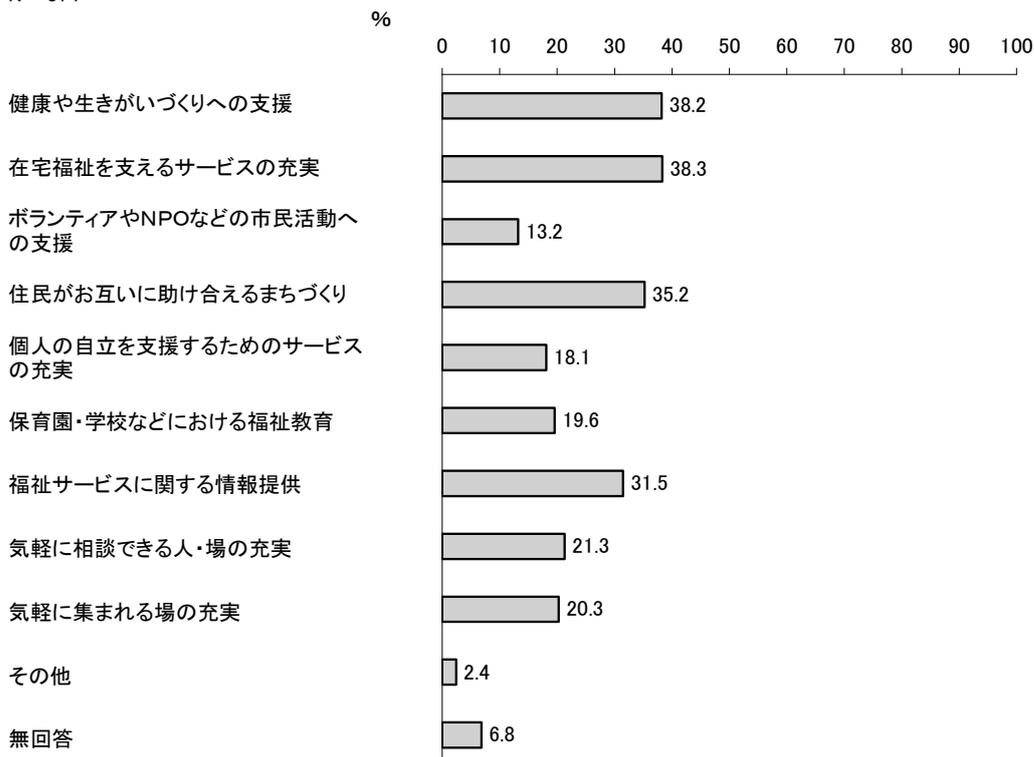
N = 874



問 29 これからの津島市の福祉は何を重点にすべきと思えますか。(3つまで番号に○)

「在宅福祉を支えるサービスの充実」の割合が38.3%と最も高く、次いで「健康や生きがいがづくりへの支援」の割合が38.2%、「住民がお互いに助け合えるまちづくり」の割合が35.2%となっています。

N = 874



7. 民生委員・児童委員や社会福祉協議会についてお聞きします。

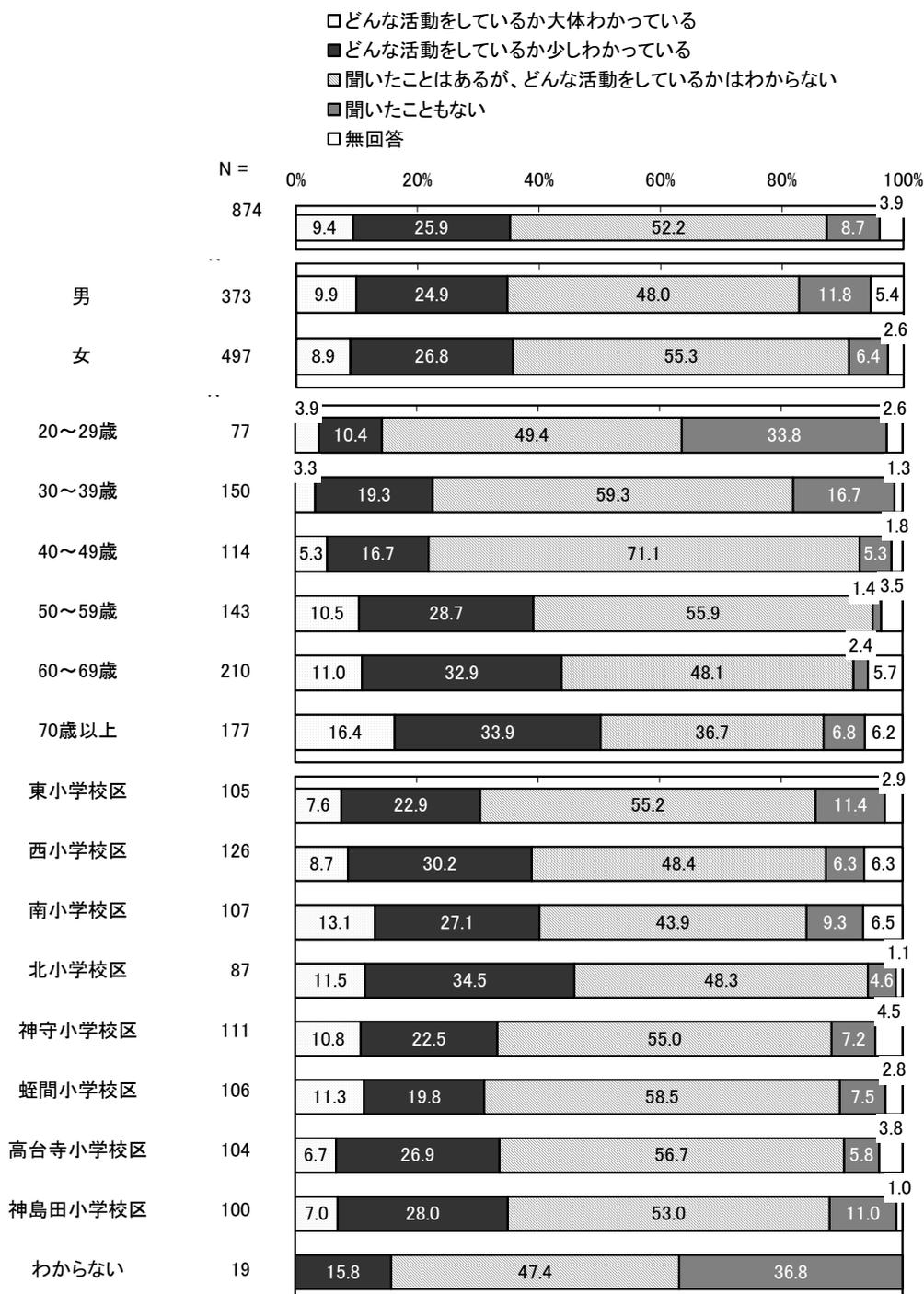
問 30 民生委員・児童委員をご存知ですか。(1つの番号に○)

「どんな活動をしているか大体わかっている」と「どんな活動をしているか少しわかっている」をあわせたわかっている割合が 35.3%、「聞いたことがあるが、どんな活動しているかはわからない」と「聞いたこともない」をあわせたわからない割合が 60.9%となっています。

性別では、大きな差異はありません。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、わかっている割合が高くなっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ北小学校区においてわかっている割合が 46.0%と高くなっています。



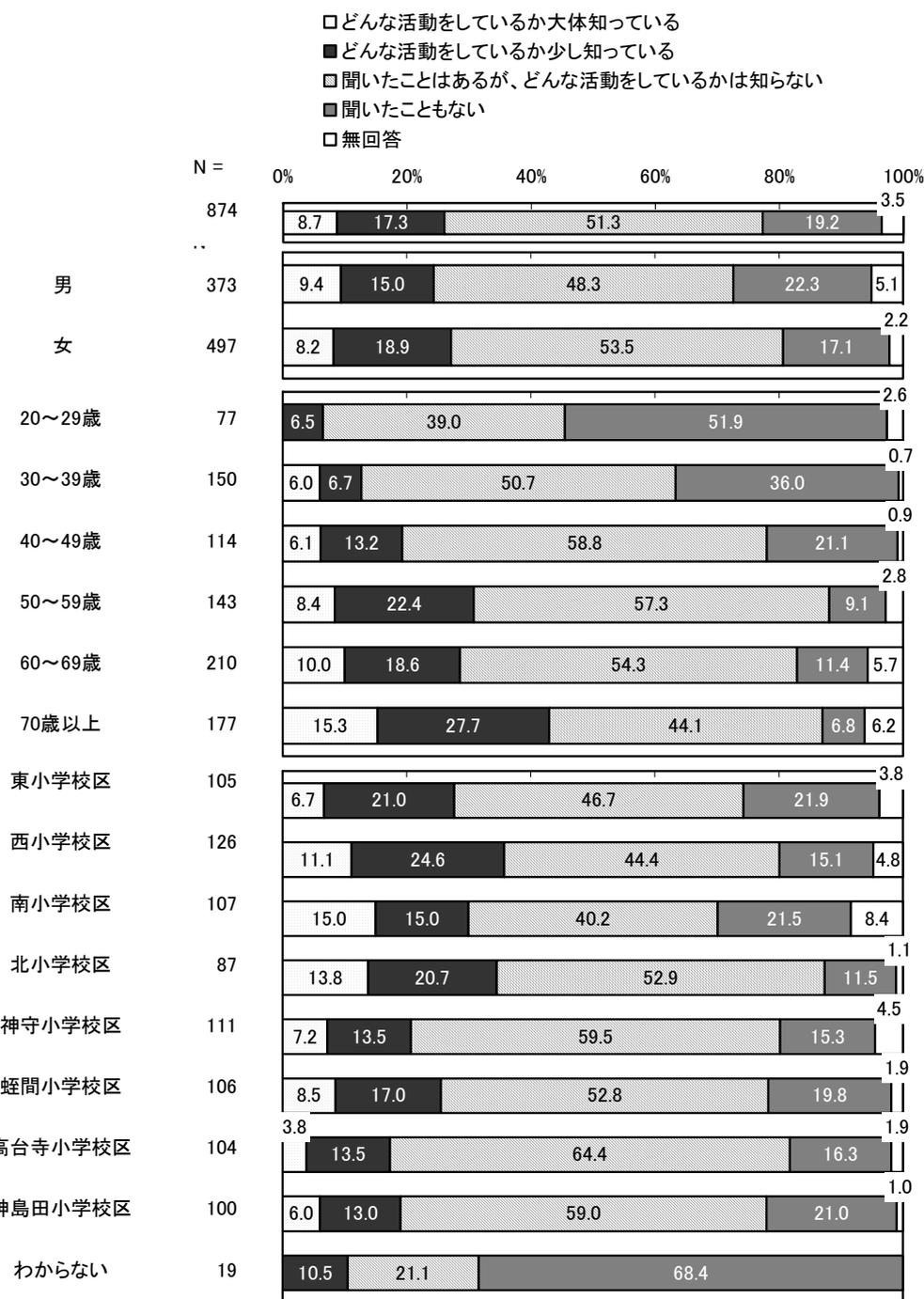
問 31 津島市社会福祉協議会をご存知ですか。(1つの番号に○)

「どんな活動をしているか大体知っている」と「どんな活動をしているか少し知っている」をあわせた知っている割合が 26.0%、「聞いたことはあるが、どんな活動をしているかは知らない」と「聞いたこともない」をあわせた知らない割合が 70.5%となっています。

性別では、大きな差異はありません。

年齢別では、年齢が上がるにつれ、知っている割合が高い傾向になっています。

小学校区別では、他の小学校区に比べ西小学校区、北小学校区において知っている割合が高くなっています。



問 32 津島市社会福祉協議会に対してどんな事業を望みますか。(3つまで番号に○)

「社会福祉に関する総合的な相談・援助活動」の割合が41.6%と最も高く、次いで「高齢者の健康づくりなど介護予防事業」の割合が34.8%、「社会福祉に関する情報提供活動の実施」の割合が32.0%となっています。

N = 874

